SONY

4-650-658-01 (1)

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ノートブックコンピューター

PCG-QR Series

Microsoft® Windows® Millennium Edition 搭載モデル

i™ S400

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5～11ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したとき**



→

❶ **電源を切る**

❷ **電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす**

❸ **VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理を依頼する**

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、それぞれ社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

*充電されたバッテリ使用時には、無停電電源装置等は不要です。

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合のCD-ROMドライブが搭載されています。

目次

準備する

基本的な使いかた

マニュアルの使いかた

困ったときは

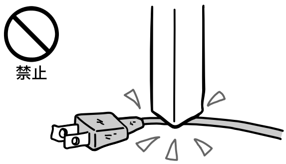
その他

警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。



- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口に交換をご依頼ください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口に点検・修理をご依頼ください。



内部をむやみに開けない



- 本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口にご依頼ください。
- メモリを増設するときは、「メモリを増設する」（91ページ）に従って注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。　指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

禁止

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本体の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

禁止

本機は日本国内専用です

本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
海外などでモデムを使用すると、故障・火災・感電の原因となることがあります。

指示

モデムは一般電話回線以外に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となります。
特に、ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

禁止

品（ネットワーク）コネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

本機の品（ネットワーク）コネクタに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

禁止

また、品（ネットワーク）コネクタをお使いになるときは、職場などのネットワーク管理者にご相談ください。

⚠警告　下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間続けて見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

キーボードを使いすぎない

キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッドを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

⚠注意 **下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。**

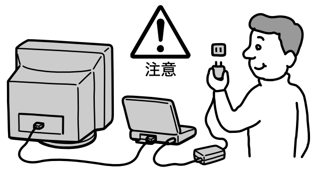
ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、
感電の原因となることがあります。



接続するときは電源を切る

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、
本機や接続する機器の電源を切り、ACアダプタや
電源コードをコンセントから抜いてください。
感電や故障の原因となることがあります。



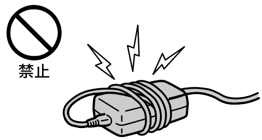
指定された電源コードや接続ケーブルを使う

取扱説明書に記されている電源コードや接続
ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となる
ことがあります。

⚠注意

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

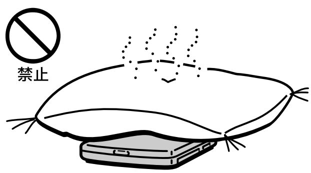
断線や故障の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障
の原因となることがあります。風通しをよくする
ために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の
  上に放置しない。
- 布などでくるまない。



通電中の本体やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、
低温やけどの原因となることがあります。

禁止

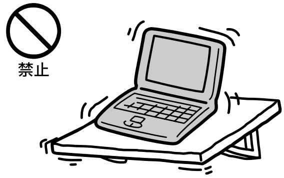
本体やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



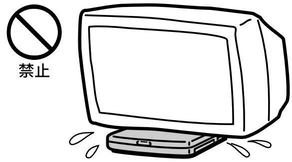
安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



本機の上に重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



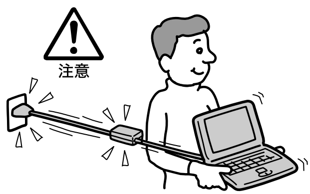
お手入れの際は、電源を切ってプラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。



コネクタはきちんと接続する

- コネクタの内部に金属片を入れないでください、ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。



次のページにつづく

⚠注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグなどを抜く

落雷のおそれがあるときは、テレホンコードや電源プラグを抜いてください。落雷により本機が破壊され、故障の原因となることがあります。


注意

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

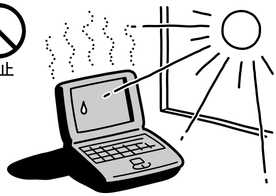
長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。


プラグをコンセントから抜く

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

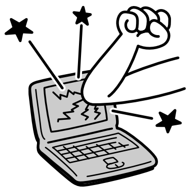

禁止



液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。


禁止



ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。


禁止

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。


禁止

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。
- 本体付属または別売りのバッテリ以外は使用しないでください。

⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、以下のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、ソニーサービスステーションにお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱してますが、
故障ではありません。使用している拡張
機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本体やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、
バッテリを取りはずしてください。次に、VAIO
カスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼くださ
い。

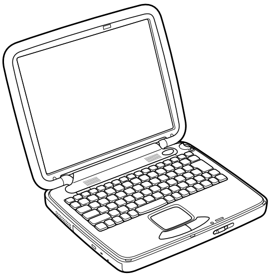
付属品を確かめる

本機を初めて使うにあたって、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。

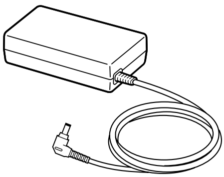
❑ マークにチェックしながら確認すると便利です。

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIO（バイオ）カスタマーリンクにご連絡ください。

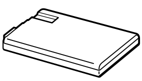
❑ **パソコン本体（1）**



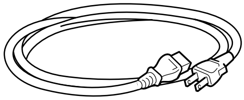
❑ AC**アダプタ（1）**



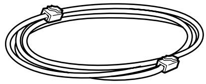
❑ **バッテリ（1）**



❑ **電源コード（1）**



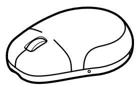
❑ **テレホンコード（1）**



❑ **フロッピーディスクドライブケース*（1）**



❑ **マウスカバー*（1）**



* 別売りのUSBフロッピーディスクドライブPCGA-UFD5、およびUSBマウスPCGA-UMS1 Series専用です。

説明書およびCD-ROM

- ❑ 取扱説明書（本書、1）
- ❑ はじめてのインターネット！（1）
- ❑ 「Microsoft® Windows® Millennium Edition*」クイックスタートガイド（1）
- ❑ リカバリ CD-ROM パッケージ（1）
- ❑ Office 2000 Personalプレインストール パッケージ（1）

ご注意

Microsoft Office 2000 Personalを初めて使うときは、いずれかのソフトウェアを起動すると「Microsoft Office 2000 ユーザー情報」画面が表示されますので、付属のOffice 2000 Personal プレインストールパッケージのCD-ROMケースに貼られているCDキーを入力します。

* 以降Windows Meと略します。

その他

- ❑ VAIOカスタマー登録、保証書お申込書（1）
- ❑ VAIOサービス・サポートのご案内（1）
- ❑ VAIOカルテ（1）
- ❑ ソフトウェア使用許諾契約書（1）
- ❑ その他パンフレット類

本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアについて」（119ページ）をご覧ください。

本書内のイラストや画面について

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。
特に指示のない限り、本文中のイラストにはPCG-QR1を使用しています。

こんなことができます

本機はデジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーなどのAV機器と組み合わせて使うことを想定した、ソニーならではのノートブックコンピュータです。
また、携帯電話やPHSとつないで、外出先でもインターネットに接続して情報収集したり、電子メールで情報交換できます。
ここでは、本機を使ってできることの例をご紹介します。

ネットワークを利用する

本機はネットワークコネクタを装着しているので、職場などのLAN（ラン）に直接接続することができます。

画像を取り込む

本機のi.LINK（アイリンク）コネクタにつないだi.LINK（IEEE1394（アイトリプルイー））インターフェイスを持つデジタルビデオカメラレコーダーなどから、デジタル信号のままで美しい画像を取り込めます。
また、“メモリースティック”対応のソニー製デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーで“メモリースティック”に画像を取り込んで、別売りのメモリースティック用PCカードアダプタを使って、本機のPCカードスロットに挿入してデータを取り込むこともできます。

i.LINKとは？

i.LINKは、i.LINKコネクタを持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェイスです。i.LINKについて詳しくは、本機オンラインマニュアルの「VAIO Inform@tion」内「知っ得情報」の「i.LINKとは」をご覧ください。

取り込んだ画像を活用する

取り込んだ画像は、付属の「PictureGear（ピクチャーギア）」ソフトウェアで簡単に管理ができます。
付属の「MovieShaker（ムービーシェーカー）」ソフトウェアを使えば、文字タイトルなどのさまざまな特殊効果を加えるなど、簡単に動画編集ができます。
また、インターネット上のサービス「ImageStation（イメージステーション）」を利用すれば、「PictureGear」や「SmartCapture（スマートキャプチャー）」ソフトウェアを使って、「ImageStation」に好きな画像をアップロードして保管したり、パスワードをつけて特定の人だけに公開することもできます。

AV再生を楽しむ

付属の「Media Bar」ソフトウェアを使って、音楽CDやビデオCDなどを再生できます。

ジョグダイヤルを便利に使う

ジョグダイヤルを回したり押したりするだけで、画面のスクロールや、画面の中の項目の選択などさまざまな操作が簡単にできます。
また、付属の「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使って、ジョグダイヤルを押しただけで好みのソフトウェアを起動させたり、タイマー機能を使って深夜に自動的に電子メールを取り込むこともできます。

バッテリを上手に使う

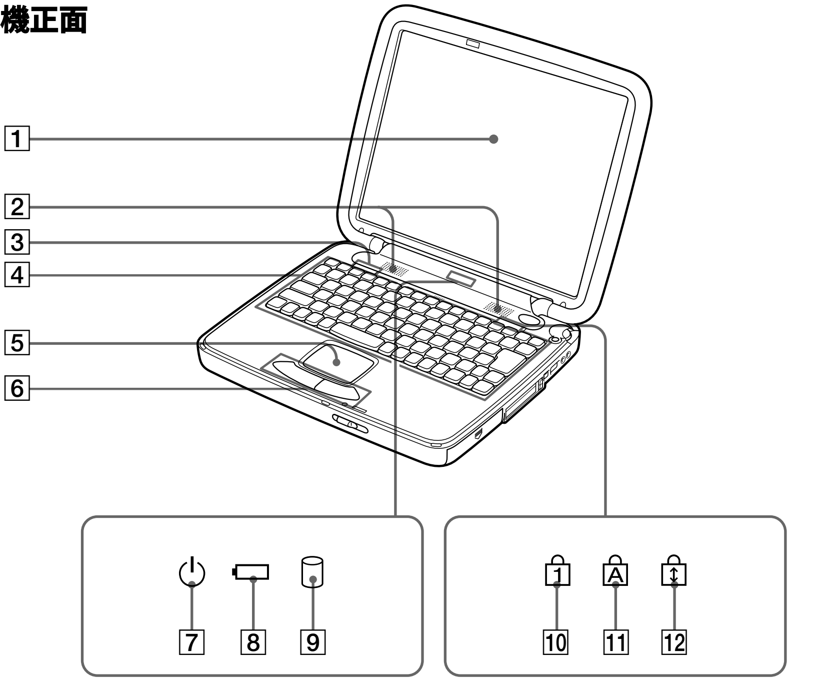
付属の「PowerPanel」ソフトウェアを使って、処理速度やバッテリでの使用時間を優先する動作環境に設定したり、バッテリの残量などを簡単に把握することができます。

これらの機能をお使いいただくには、最初に、本書に沿って一通りに準備を完了しておく必要があります。「準備する」（21ページから）の説明に従って、本機の準備を行ってください。
また、それぞれの操作について詳しくは、本機または各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください（50ページ）。

各部のなまえ

詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。

本機正面



1 **液晶ディスプレイ**
（72、109ページ）

2 **内蔵スピーカー**
（80ページ）

3 **IDラベル**（62、116ページ）

4 **キーボード**（42、73ページ）

5 **タッチパッド**（40、73ページ）

6 **左／右ボタン**（40ページ）

7 **（パワー）ランプ**（24ページ）

8 **（バッテリ）ランプ**

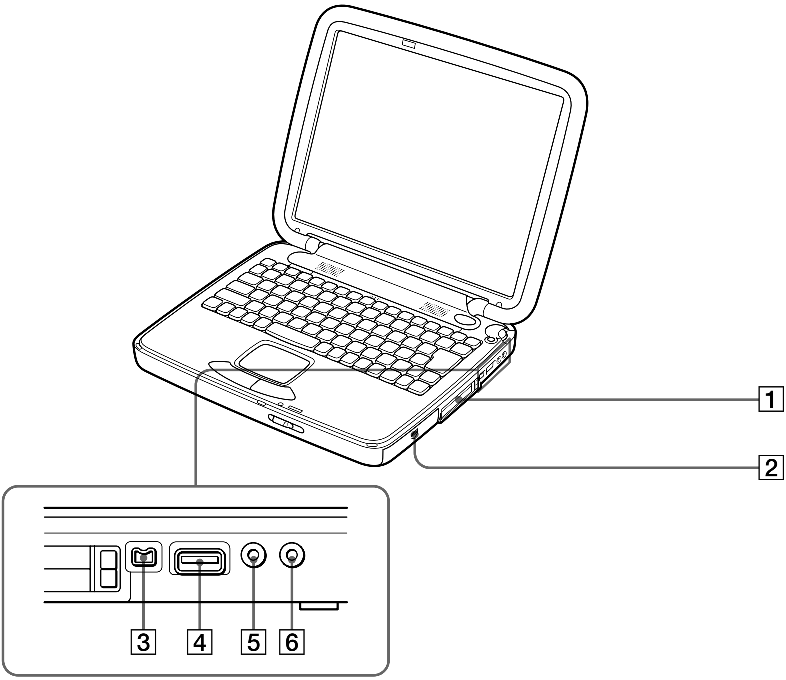
9 **（ハードディスク）ランプ**

10 **(Num Lock) ランプ**
（43、67、74ページ）

11 **(Caps Lock) ランプ**
（67ページ）

12 **(Scroll Lock) ランプ**

本機右面



1 PCカードスロット
（80、111ページ）

2 バッテリベイ（22ページ）

ご注意

バッテリベイのふたは取りはずすことができますが、異物等が入り故障の原因となりますので、装着してお使いください。

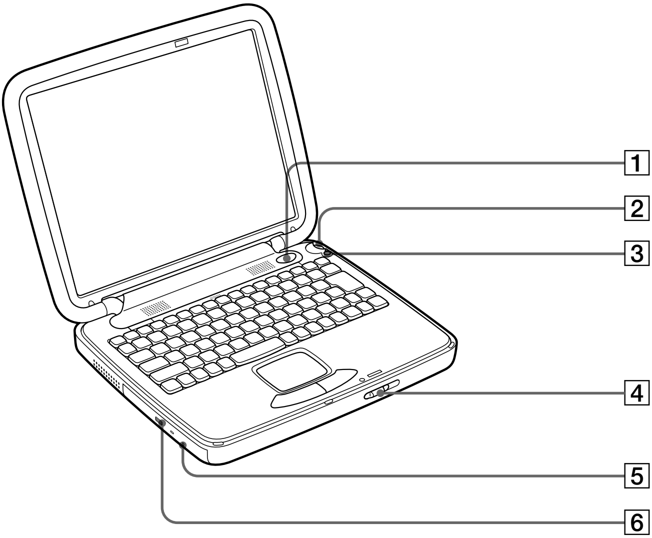
3 S400 i（i.LINK）コネクタ
（14ページ）

4 Ψ USBコネクタ

5 Ω（ヘッドホン）コネクタ

6 🎤（マイク）コネクタ

本機左面



1 ⏻（パワー）ボタン（24ページ）

2 ジョグダイヤル

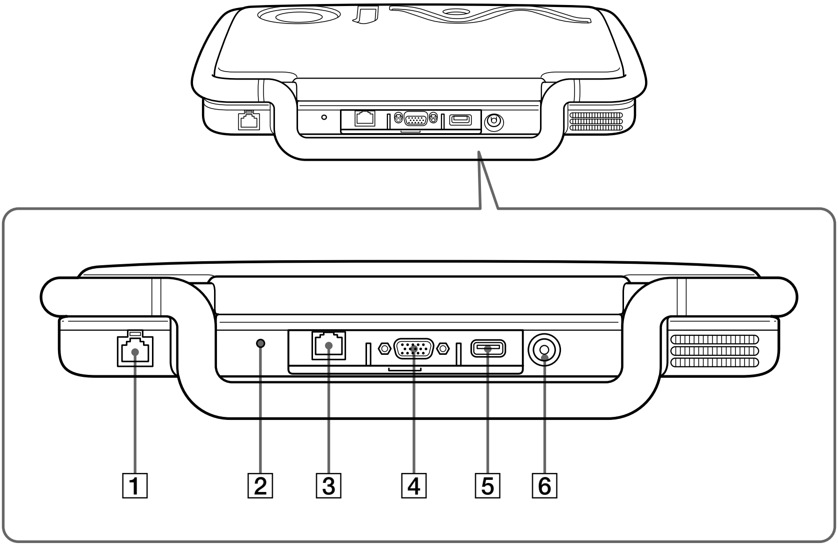
3 BACKボタン

4 ディスプレイロックレバー（20、24ページ）

5 CD-ROMドライブマニュアルイジェクト穴（78ページ）

6 CD-ROMドライブ（78、111ページ）

本体後面



1 TEL LINE（モジュラジャック）（33、68ページ）

2 リセットスイッチ（64ページ）

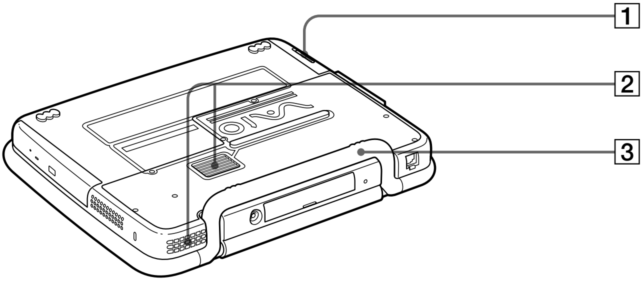
3 NETWORK（ネットワーク）コネクタ

4 MONITORコネクタ

5 USBコネクタ

6 DC INコネクタ（23ページ）

本体底面



1 バッテリベイ開閉レバー

2 通風口

3 キャリングスタンド

キャリングスタンドを持って本機を持ち運ぶときは

- 接続ケーブルをはずしてください。
- ディスプレイロックレバー（18ページ）をずらして、液晶ディスプレイパネルをロックしてください。
- 本機に衝撃を加えたり、落としたりしないようご注意ください。

準備する

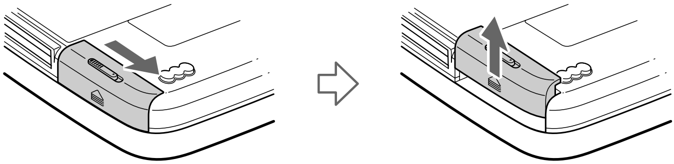
電源を入れる

以下の手順に従って、本機の電源を入れてください。

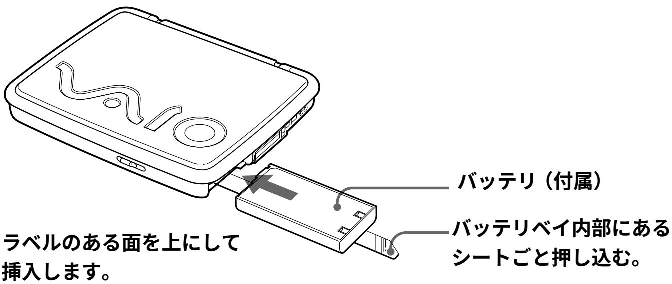
1　バッテリを取り付ける。

停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。

① 本機底面のバッテリベイの開閉レバーをずらしたまま、バッテリベイのふたを取りはずす。

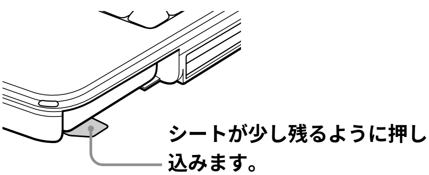


② バッテリを挿入する。
バッテリベイの内部にある、シートごと押し込みます。



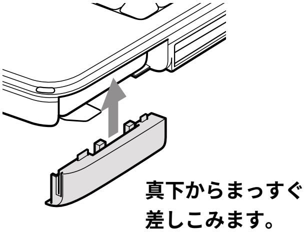
ご注意

シートが少し残るように押し込んでください。シートがすべて中に入ってしまうと、バッテリを取り出せなくなることがあります。



④ バッテリベイのふたを閉じる。

「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

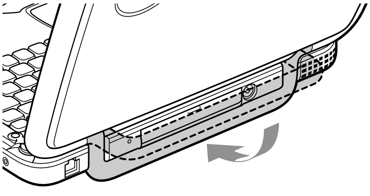


2 AC電源をつなぐ。

本機と壁のACコンセントを接続します。

① キャリングスタンドを立てる。

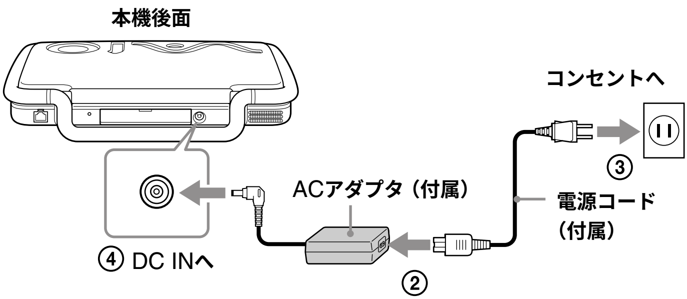
ACアダプタを接続する際は、必ずキャリングスタンドを立ててから接続してください。



② 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。

③ 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

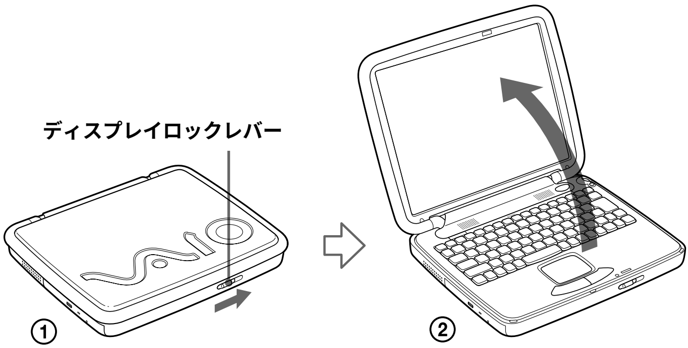
④ ACアダプタのプラグを、本機後面のDC INに差し込む。



3 ディスプレイパネルを開く。

① ディスプレイロックレバーを矢印の方向にずらす。

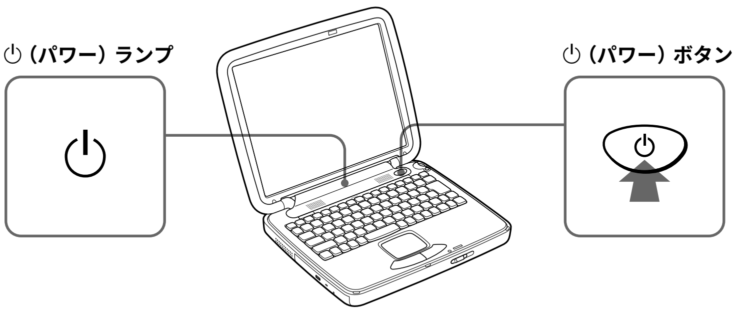
② ディスプレイパネルを開く。



4 ⏻（パワー）ボタンを押し、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら離す。

キーボード右上の ⏻（パワー）ボタンを押します。

電源が入ると、⏻（パワー）ランプが点灯し、Windows Meのロゴの画面が表示され、本機が起動します。



本機の電源を初めて入れる場合は、Windows Meのロゴの画面が表示されたあと、「新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、そのまま長時間放置せずに、[はい] をクリックして本機を再起動してください。

再起動後に、Windows Meのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。
「Windows Meを準備する」（26ページ）の手順に従って、Windows Meのセットアップを行ってください。



ご注意

- ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにすると、電源が切れてしまいます。⏻（パワー）ランプが点灯したら指を離してください。
- タッチパッドの手前部分に磁気製品などを近づけると、液晶ディスプレイパネルを閉じたときと同じ状態となり、LCD/Videoスタンバイまたは休止状態に移行します。本機に近くには磁気製品を近づけないよう、ご注意ください。

本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に30分以上操作しないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイ）。タッチパッドに触れるかキーボードのいずれかのキーを押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリで長時間使用できるようにするため、工場出荷時の設定では、バッテリでご使用中に数分間以上操作をしないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイまたはスタンバイ）。さらに数分間以上操作をしないとシステムの状態をハードディスクに書き込んでから自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。
元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ランプの状態により次の操作を行ってください。

- ⏻（パワー）ランプがグリーンで点灯（LCD/Videoスタンバイ）
  キーボードのいずれかのキーを押す。
- ⏻（パワー）ランプがアンバー（赤褐色）で点滅（スタンバイ）
  キーボードのいずれかのキーまたは⏻（パワー）ボタンを押す*。
- ⏻（パワー）ランプが消灯（休止状態または電源オフ）
  ⏻（パワー）ボタンを押す*。

  * ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

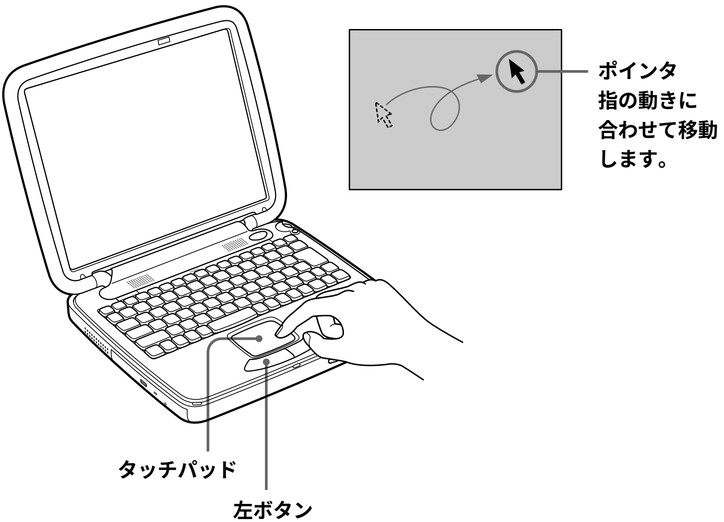
Windows Meを準備する

本機を使う前に、Windows Meを使うための準備が必要です。
Windows Meが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。以下の手順に従って、Windows Meを使う準備をします。

- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、以下の操作を行う前に付属のバッテリを本機に取り付けてください。
取り付けかたについては「電源を入れる」の手順1（22ページ）をご覧ください。
- 「基本的な使いかた」（39ページ）では、タッチパッドやキーボードの使いかたについて説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

1 **「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある［次へ］をクリックする。**

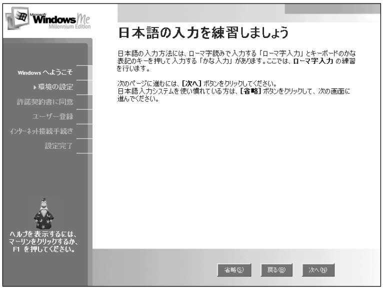
タッチパッドに触れて指を動かし、次へ(N) の上までポインタを移動して左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」といいます。





ここをクリックする。

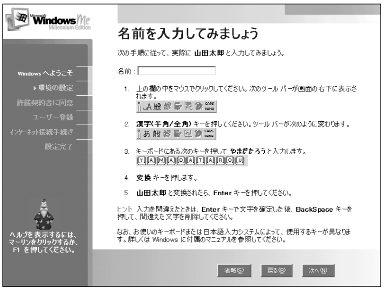
「日本語の入力を練習しましょう」画面が表示されます。



2 ［次へ］をクリックする。

「名前を入力してみましょう」画面が表示されます。

画面の指示に従って、名前を入力する練習をしてみましょう。

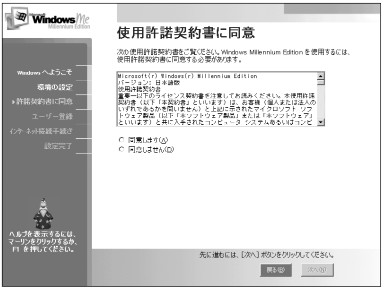


日本語の入力方法をすでにご存知の方は、［省略］をクリックして手順3の画面へ進むこともできます。

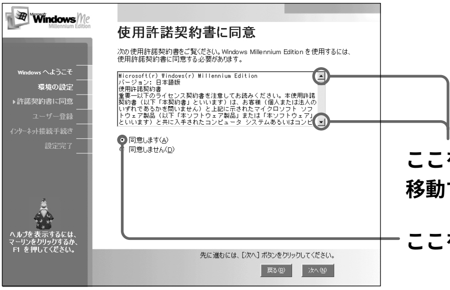
次のページにつづく

3 ［次へ］をクリックする。

「使用許諾契約書に同意」画面が表示されます。



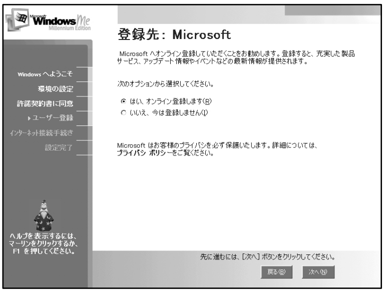
4 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは［同意します］の ◯ をクリックして ◉ にし、［次へ］をクリックする。



ここをクリックすると、文章が上下に移動する。

ここをクリックする。◯ が ◉ になる。

「登録先：Microsoft」画面が表示されます。



ご注意

［同意しません］の◯をクリックすると、Windows Meの準備作業は中止され、Windows Meと本機に入っているソフトウェアはお使いになれません。

5 「いいえ、今は登録しません」の ◯ をクリックして ◉ にし、［次へ］をクリックする。

「VAIOカスタマー登録のおすすめ」画面が表示されます。



「登録先：Microsoft」画面で「はい、オンライン登録します」を選んで［次へ］をクリックすると、マイクロソフトへのオンライン登録ができます。ただし、オンライン登録するには本機を電話回線に接続しておく必要があります。接続の手順について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（32ページ）をご覧ください。

6 ［次へ］をクリックする。

「インターネット接続サービスご紹介」画面が表示されます。

インターネット接続サービスについて詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（32ページ）をご覧ください。



次のページにつづく

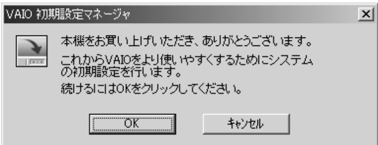
7 ［次へ］をクリックする。

「設定が完了しました」画面が表示されます。



8 ［完了］をクリックする。

Windows Meが起動し、「VAIO 初期設定マネージャ」画面が表示されます。



9 ［OK］をクリックする。

システムの初期設定が始まります。

設定が終了すると、「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されます。

10 ［はい］をクリックする。

本機が再起動し、これでWindows Meが使えるようになりました。

ご注意

- 手順9で［キャンセル］をクリックしてシステムの初期設定を行わない場合は、VAIOの独自のジョグダイヤル機能や、電源管理ツール、Fnキーと組み合わせたキーボードショートカット機能など、ハードウェア機能の一部が使用できなくなります。
- 本機に付属のOS（Operating（オペレーティング） System（システム））以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

電源を切る

以下の手順に従って、本機の電源を切ります。

ご注意

必ず下記の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと本機の故障の原因となったり、作成した文書などのファイルが使えなくなることがあります。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［スタート］メニューの［Windows の終了］をクリックする。



ここをクリックする。

「Windows の終了」画面が表示されます。

2 ▼ をクリックして、一覧の中から［終了］を選び、［OK］をクリックする。



数秒後に本機の電源が自動的に切れ、⏻（パワー）ランプ（グリーン）が消灯します。

これで、本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。引き続きいろいろな操作をするためには、本機オンラインマニュアルをご覧ください（49ページ）。

カスタマー登録する／インターネットに接続する

ここでは、本機を電話回線につなぎ、オンラインカスタマー登録をしてから、インターネット接続サービスにオンラインで入会する手順を説明します。

ご注意

次ページからの手順を行うには、本機が一般電話回線につながっている必要があります。カスタマー登録に使用する電話回線はISDN回線や携帯電話には対応していません。ISDN回線をお使いになる場合は、本機のモジュラジャックとターミナルアダプタのアナログポートを接続してください。ISDN回線やターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

インターネット接続サービスとは

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。インターネット接続サービスはインターネットとパソコンとの間を仲介する役割を持っており、インターネット接続サービスを提供する会社と契約すると、インターネットを使っていろいろな情報を記述したホームページを簡単に見たり、電子メールを送受信したりできるようになります。

カスタマー登録すると、正規のユーザーとして登録され、登録カスタマー専用の各種アップグレードサービスなどが受けられます。サービスの内容については、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。
また、本機に付属の保証書（未登録のお客様用）の保証期間はお買い上げ日から3か月ですが、ご登録後にVAIOカスタマー専用デスクから、お買い上げ日より1年間の保証書とVAIOカスタマー登録証をお送りします。（すでに登録証をお持ちの方へは登録証は送付されません。）保証について詳しくは、「保証書とアフターサービス」（115ページ）をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ先
VAIOカスタマー専用デスク　電話番号：03-3584-6651

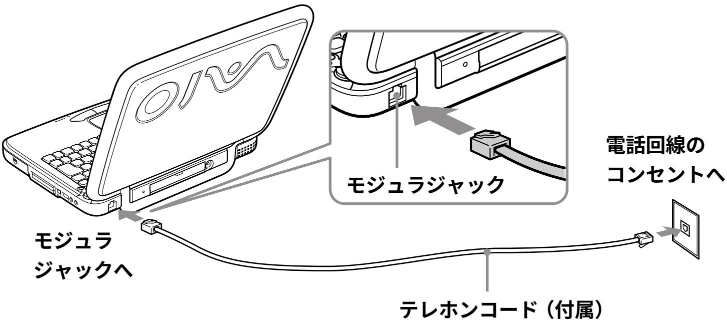
はがきでも登録できます

付属の「VAIOカスタマー登録、保証書お申込書」に記入し投函することによってカスタマー登録することができます。

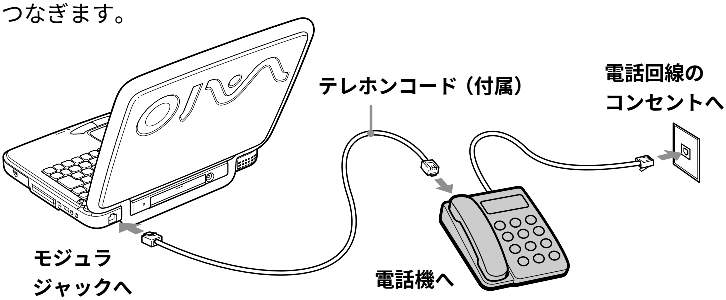
ご登録内容は、ソニーから外部へは一切開示致しません。

1 電話回線につなぐ。

付属のテレホンコードを使って、本機を電話回線に接続します。



モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。



ご注意

- 使用可能な回線は、一般電話回線です。PBX（構内交換機）回線には接続しないでください。故障・発火の原因になります。
- 分配器を使用して電話回線を分岐すると、モデムおよび分岐先の機器が正しく動作しないことがあります。なお、屋内配線の中には分配器経由で各部屋に配線されている場合があります。
- オンラインカスタマー登録は、上記の手順1に従って、必ず本機のモジュラジャックを電話回線のコンセントに接続して行ってください。

- 電話回線への接続について詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「インターネットへ接続する」の「一般電話回線につなぐ」をご覧ください。
- 電話回線のコンセントの形状が付属のテレホンコードにあわないときは交換工事や取り付け工事が必要な場合があります。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「VAIO Inform@tion」内「知っ得情報」の「電話回線のコンセントの種類」をご覧ください。
- テレホンコードは、「カチッ」と音がするまでモジュラジャックに差し込んでください。

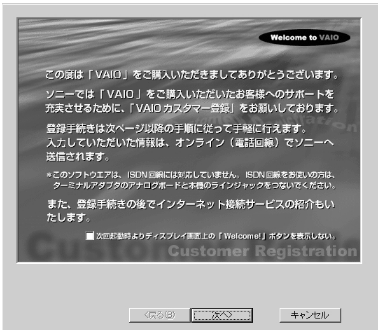
2 本機の電源を入れる。

「電源を入れる」(22ページ) をご覧ください。

3 画面上の [Welcome!] ボタンをクリックする。



「Welcome」の画面が表示されます。

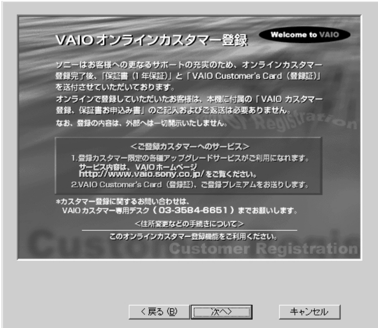


カスタマー登録をしない、または後でするときは

[キャンセル] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、「ここでこのアプリケーションを終了すると登録が完了しません。」というメッセージ画面が表示されます。[終了] をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。その後の手順について詳しくは、36ページの手順6をご覧ください。

4 ［次へ］をクリックする。

VAIOオンラインカスタマー登録の画面が表示されます。



1つ前の画面が見たいときは

［戻る］をクリックします。

5 ［次へ］をクリックする。

カスタマー登録を開始します。

画面の指示に従って操作してください。



この画面が表示されたときは

お使いの電話回線のダイヤル方法を確認し、発信方法を選びます。



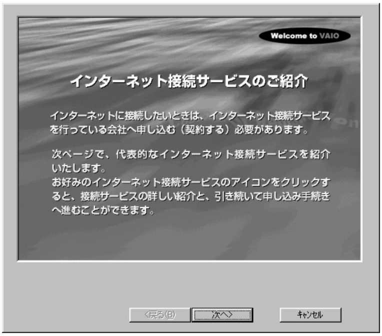
次のページにつづく

💡

- トーン式ダイヤルとは
  電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
- パルス式ダイヤルとは
  ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方式です。

6 ［登録］をクリックする。

「インターネット接続サービスご紹介」画面が表示されます。



💡 **入会手続きをしない、または後でするときは**

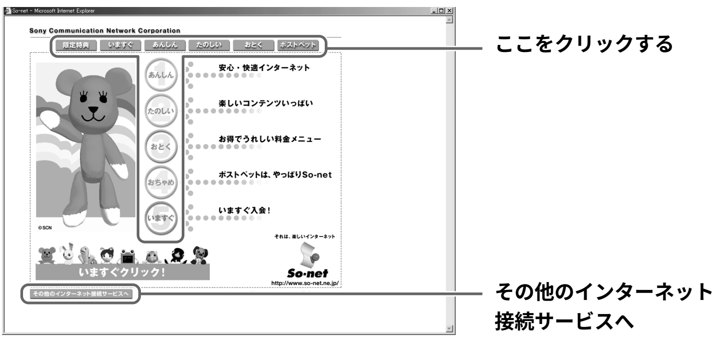
［キャンセル］をクリックします。

7 ［次へ］をクリックする。

So-netの紹介画面が表示されます。

8 So-net**のサービス内容を確認する。**

So-netの紹介画面上のボタンをクリックし、3か月無料体験特典やSo-netのサービス内容について確認します。



9 ［いますぐ］をクリックする。

So-netの入会手続きが始まります。
［その他のインターネット接続サービスへ］をクリックすると、
「インターネット接続サービスご紹介」画面が表示されます。

10 お好みのインターネット接続サービスのアイコンをクリックする。

インターネット接続サービスに入会する手続きを開始します。
画面の指示に従って操作してください。

一部のインターネット接続サービスでは、オンラインカスタマー登録をしてから
入会手続きを行うと、同じユーザー情報を何度も入力する手間が省けます。
オンラインカスタマー登録をしなくても、インターネット接続サービスへの
入会手続きをすることはできます。



お好みのインターネット接続サービスのアイコンをクリックする。

インターネット接続を手動で設定する、またはLAN（ネットワーク）を使って接続するときは

画面右下の［こちらへ］をクリックします。
「インターネット接続ウィザード」画面が表示されるので、画面の指示に従って
必要事項を入力してください。

入会手続きをしない、または後でするときは

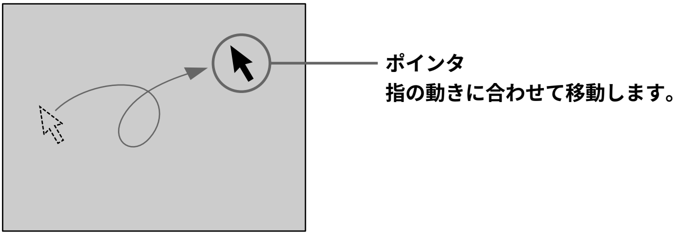
画面右上の ☒ をクリックします。

入会手続きが終わると、インターネットが使えるようになります。
インターネットについてさらに詳しくは、別冊の「はじめての
インターネット！」をご覧ください。

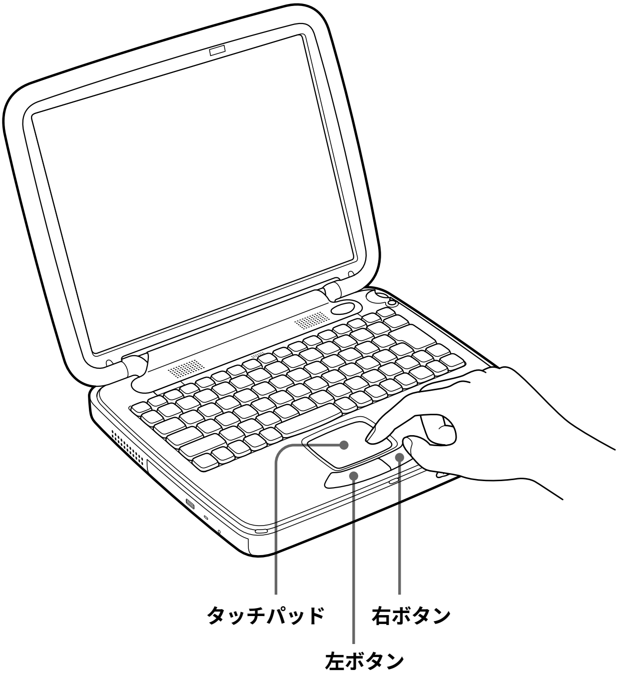
基本的な使いかた

タッチパッドを使う

タッチパッドに触れて指を動かすと、画面上のポインタも同じ方向に移動します。



ポインタを目的の位置まで動かして左または右のボタンを押すだけで、メニューを選んだり、さまざまな命令をコンピュータに伝えることができます。



クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、タッチパッドの手前にある左ボタンを1回押します。[OK] や [キャンセル] などのボタンを押したり、メニューを選ぶときなどに使います。
また、タッチパッドを指で1回軽くたたいても同じ働きをします。

ダブルクリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを2回続けて押します。
ワードプロセッサや表計算などのソフトウェアを実行したり、作成した文書などのファイルを開くときなどに使います。
またタッチパッドを、2回続けて軽くたたいても同じ働きをします。

ドラッグする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを押したまま、タッチパッド上で指を動かし、希望の位置でボタンを離します。ファイルを移動したり、ウィンドウの大きさを変更するときなどに使います。
また、タッチパッドを2回続けて軽くたたき、そのままタッチパッド上で指を動かして希望の位置で離しても同じ働きをします。

ドラッグアンドドロップする

ファイルなどのアイコンをドラッグし、他のフォルダやウィンドウ、ソフトウェアのアイコンなどの上で左ボタンを離します。ファイルを移動したり、コピーするときなどに使います。

右クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。
押したときのポインタの位置によって、さまざまな内容のポップアップメニューが表示されます。

スクロールする

指をタッチパッド上の右端に合わせて、上下に動かします。選択されているウィンドウ上の垂直方向のスクロールバーを移動できます。
指をタッチパッドの右上または右下に置いたままにして、上方向または下方向にスクロールし続けることができます。
また、指をタッチパッドの下端に合わせて、左右に動かします。選択されているウィンドウ上の水平方向のスクロールバーを移動できます。

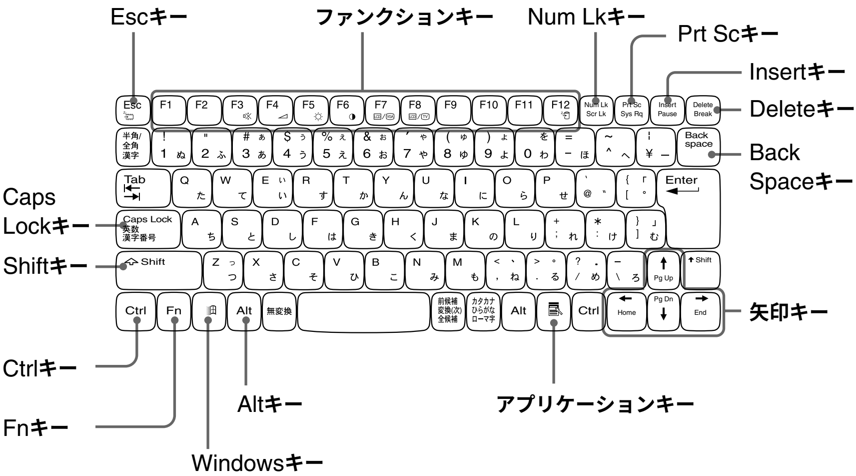
上記は工場出荷時の設定です。設定を変更したり、タッチパッドをより便利に使うには、本機オンラインマニュアルの「設定を変更する」内の「タッチパッドをカスタマイズする」をご覧ください。

キーボードを使う

キーボードを使って文字や記号を入力したり、コンピュータへ命令を送ることができます。ここでは、他のキーと組み合わせて使う、特殊なキーのなまえと機能を紹介します。
文字の入力のしかたについては、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内の「文字を入力する」をご覧ください。

ご注意

- キートップがはずれてしまったら、「キートップがはずれた」（75ページ）をご覧になり、正しく取り付け直してください。
- キートップを故意にはずしたり、取り付けたりするときに無理に力を加えると、故障や破損の原因となります。取り扱いにはご注意ください。



なまえ	機能
Esc（エスケープ）キー	設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。
ファンクションキー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。 Fnキーと組み合わせて使うと特定の機能を実行できます。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（47ページ）をご覧ください。

なまえ	機能
Num Lk（ナムロック）キー	テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、液晶ディスプレイ下の(Num Lock）ランプが点灯します。もう1度Num Lkキーを押すと、消灯します。詳しくは、「Num Lkキーの機能」（45ページ）をご覧ください。
Prt Sc（プリントスクリーン）キー	表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。
Insert（インサート）キー	文字入力モードを切り替えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとに、カーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り替えることができます。
Delete（デリート）キー	カーソルの右側の文字を消します。
Back Space（バックスペース）キー	カーソルの左側の文字を消します。
矢印キー	カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。
アプリケーションキー	タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。
Alt（オルト）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。オルタネートキーともいいます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
Windows（ウィンドウズ）キー	Windows Meの［スタート］メニューが表示されます。他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのオンラインマニュアルおよび「Windowsキーとの組み合わせ」（46ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

なまえ	機能
Fn（エフエヌ）キー	キーボード上で緑色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（47ページ）をご覧ください。
Ctrl（コントロール）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくはソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。 例）Ctrlキーを押しながら、Sキーを押す。 メニューから「保存する」を選ばずに、ファイルを保存できます。
Shift（シフト）キー	文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。
Caps Lock （キャプスロック）キー	Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押し、キーボード右上の(Caps Lock) ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。 もう1度、Shiftキーを押しながらこのキーを押すと、ランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。

Num Lkキーの機能

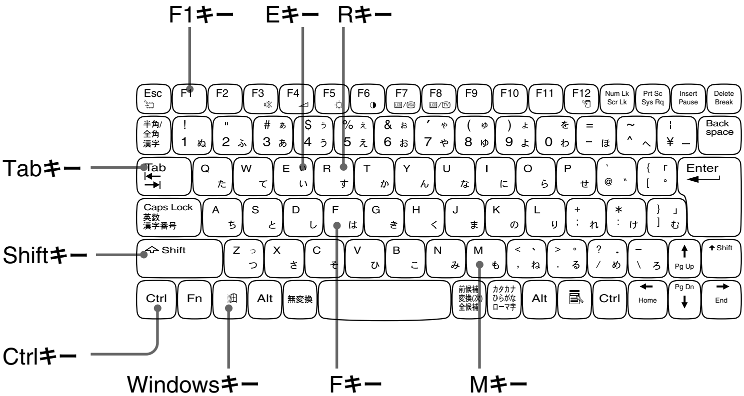


なまえ	機能
テンキー	Num Lkキーを押し、キーボード右上の (Num Lock) ランプが点灯しているときにテンキーを押すと、キー前面左側に印字されている数字を入力できます。 例： Uキーを押すと「4」が入力されます。

キーボードショートカット

メニューを開かなくても、キーボードから各種コマンドを実行できます。

Windowsキーとの組み合わせ



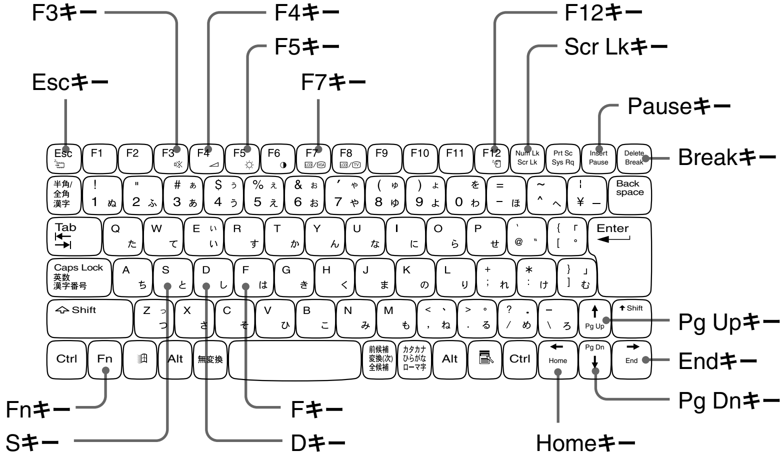
キー操作の表記

例： ⊞ +F ➡ WindowsキーをおしながらFキーを押す。

組み合わせ	機能
⊞ +F1	Windowsの「ヘルプとサポート」を表示します。
⊞ +E	エクスプローラ*を表示します。
⊞ +R	「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。 ［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行…］を選んだときと同じです。
⊞ +M	表示されているすべての画面を最小化します。
Shift+ ⊞ +M	最小化されているすべての画面をもとのサイズに戻します。
⊞ +F	ファイルとフォルダの検索画面を表示します。 ［スタート］メニューから［検索］の［ファイルやフォルダ…］を選んだときと同じです。
⊞ +Ctrl+F	コンピュータの検索画面を表示します。
⊞ +Tab	タスクバーに表示されているボタンの選択を切り替えます。

＊ コンピュータの内容（ファイルやフォルダ）をツリー図で表示します。作成したファイルなどがコンピュータのどこに保存されているか、一目で確認できます。

Fnキーとの組み合わせ



キー操作の表記

例：Fn + (Esc) ➡ Fnキーを押しながらEsc（エスケープ）キーを押す。

組み合わせ	機能
Fn+ (Esc)*	現在の本機の状態をメインメモリに記憶させ、液晶ディスプレイとCPUの電源供給を停止して、使用電力を低減します（スタンバイ）。
Fn+ (F3)*	本機の内蔵スピーカーの音声を入／切します。
Fn+ (F4)*	本機の内蔵スピーカーの音量が調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ音量表示が表示されます。 ↑または→キーを押すと大きくなり、←または↓キーを押すと小さくなります。
Fn+ (F5)*	液晶ディスプレイの明るさを調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ明るさ表示が表示されます。 ↑または→キーを押すと明るい画像になり、←または↓キーを押すと暗い画像になります。
Fn+ LCD/VGA (F7)*	MONITORコネクタに接続した外部ディスプレイなどと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。 液晶ディプレイのみ→液晶ディスプレイと外部ディスプレイ同時表示→外部ディスプレイのみ→液晶ディスプレイのみ→…

次のページにつづく

組み合わせ	機能
Fn+ Zz (F12)*	本機の液晶ディスプレイやCPUだけでなく、ほとんどの電源供給を停止します（休止状態）。使用環境はハードディスクに書き込まれるので、復帰後もそのまま作業ができ、電源オフからの起動よりも早く本機を使用できます。
Fn+Scr Lk（スクロールロック）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
Fn+Pause（ポーズ）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
Fn+Break（ブレイク）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
Fn+Pg Up（ページアップ）キー	現在表示している画面の前のページを表示します。
Fn+End（エンド）キー	行の最後にカーソルを移動します。
Fn+Pg Dn（ページダウン）キー	現在表示している画面の次のページを表示します。
Fn+Home（ホーム）キー	行の先頭にカーソルを移動します。
Fn+D	本機の画面が暗くなります（LCD/Video スタンバイモード）。 いずれかのキーを押すと元の状態に戻ります。

* ジョグダイヤルを使っても操作ができます。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内の「ジョグダイヤルランチャー画面」をご覧ください。

ご注意

Windows Me起動後でないと作動しないものがあります。

マニュアルの使いかた

マニュアルの使いかた

本機には、本書のほかに、以下のオンラインマニュアルがあらかじめインストールされています。それぞれの目的にあわせてお読みください。
本機のオンラインマニュアルの見かたについては、「本機のオンラインマニュアルを見るには」（51ページ）を、付属ソフトウェアのオンラインマニュアルの見かたについては、「付属ソフトウェアのオンラインマニュアルを見るには」（56ページ）をそれぞれご覧ください。
本機に付属のソニー製のソフトウェアには、以下のオンラインマニュアルのほかにヘルプがあります。オンラインマニュアルでは基本操作を、ヘルプではソフトウェアのより詳しい使いかたを説明しています。
ヘルプの見かたについては、「ヘルプを見るには」（57ページ）および、それぞれのソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
また、119ページの「付属ソフトウェアについて」では、本機に付属のソフトウェアについて簡単に説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

オンラインマニュアルとは

本機やソフトウェアの操作説明などを、デスクトップ画面上で読めるようにしたマニュアルのことです。

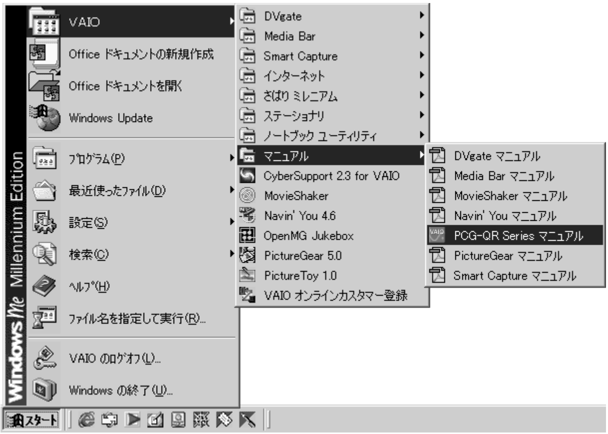
本機に付属のオンラインマニュアル

❑ PCG-QR Series オンラインマニュアル
本機の使いかたについて詳しく説明しています。また、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお問い合わせ先なども説明しています。本書を読み終わった方は、必ずこちらもご覧ください。
❑「DVgate」オンラインマニュアル
❑「Media Bar」オンラインマニュアル
❑「MovieShaker」オンラインマニュアル
❑「Navin' You」オンラインマニュアル
❑「PictureGear」オンラインマニュアル
❑「Smart Capture」オンラインマニュアル

本機のオンラインマニュアルを見るには

本機のオンラインマニュアルは、「Microsoft Internet Explorer」などのブラウザソフトウェアを使って表示します。
本機のオンラインマニュアルを見るには、本機の電源が入っている状態で、デスクトップ上の をダブルクリックするか、下記の手順で操作します。

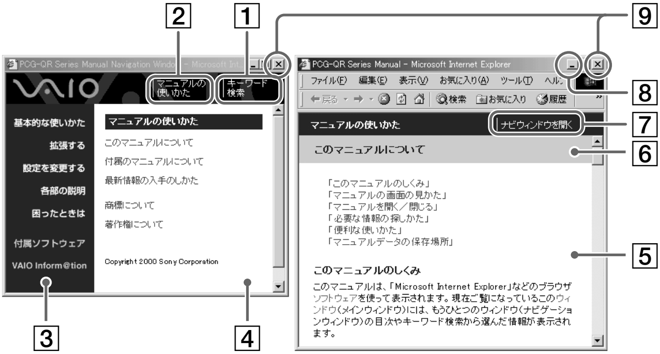
[スタート] ボタンをクリックして [VAIO] にポインタを合わせ、[マニュアル] から [PCG-QR Series マニュアル] をクリックする。



次のページにつづく

本機オンラインマニュアルの画面の見かた

本機のオンラインマニュアルを開くと、ナビゲーションウィンドウとメインウィンドウの2つのウィンドウが開きます。
ナビゲーションウィンドウには目次が表示され、各項目の詳細がメインウィンドウに表示されます。



ナビゲーションウィンドウ　　　　メインウィンドウ

[1] キーワードから説明を探したいときにクリックします。詳しくは、「キーワードを入力して探す」（54ページ）をご覧ください。

[2] ここをクリックすると、[4] にオンラインマニュアルの使いかたのトピックタイトルが表示されます。

[3] それぞれの章タイトルをクリックすると、その章タイトルに含まれているトピックタイトルが [4] に表示されます。

[4] トピックタイトルが表示されます。表示されたトピックタイトルをクリックするとメインウィンドウに操作手順などの説明が表示されます。

[5] メインウィンドウ上に表示される以下の項目をクリックすると、クリックした項目の詳しい説明や、関連項目が表示されます。
- ページをスクロールさせたいときは、画面右下の ▼ をクリックします。
- ページの冒頭に見出しが表示されているときは、見たい内容をクリックすると、その説明箇所が表示されます。
- 本文中の【詳細】をクリックすると、さらに詳しい説明のあるページが表示されます。

- ［ここにも注目］のトピックタイトルをクリックすると、関連する項目のあるページが表示されます。
- 本文中、緑色で表示されている言葉（単語）をクリックすると、その言葉の用語解説のページが表示されます。

6 トピックタイトルが表示されます。

7 ナビゲーションウィンドウを閉じている場合にここをクリックすると、ナビゲーションウィンドウが再び表示されます。

8 ここをクリックするとウィンドウが最小化されます。ウィンドウを隠しておきたいときにクリックします。タスクバーのアイコンをクリックすればウィンドウは元の大きさに戻ります。

9 ここをクリックするとウィンドウを閉じることができます。マニュアルを読み終わったら、ここをクリックしてください。

マニュアルを開くと2つのウィンドウが開きますが、必要に応じてどちらか片方のウィンドウを閉じることもできます。

- ナビゲーションウィンドウが閉じているときは、メインウィンドウ上の［ナビウィンドウを開く］をクリックします。
- メインウィンドウが閉じているときは、ナビゲーションウィンドウの目次やキーワード検索から、表示したい情報の項目を選んでクリックします。

ご注意

メインウィンドウで他のWebページを表示すると、ナビゲーションウィンドウで目次やキーワードを選んでもメインウィンドウに表示されなくなります。この場合は、1度メインウィンドウを閉じてから、再びナビゲーションウィンドウで目次やキーワードを選び直して、メインウィンドウを表示させてください。

次のページにつづく

必要な情報の探しかた

目次から探す

1 **ナビゲーションウィンドウ左側から、章タイトルをクリックする。**

クリックした章に含まれるトピックタイトルがナビゲーションウィンドウ右側に表示されます。

2 **説明を読みたいトピックタイトルをクリックする。**

トピックタイトルの最後に ▶ があるものは、クリックするとさらに詳しいトピックタイトルが表示されます。

クリックしたトピックの情報がメインウィンドウに表示されます。

キーワードを入力して探す

1 **ナビゲーションウィンドウ上部の［キーワード検索］をクリックする。**

キーワードの入力欄が表示されます。



ここにキーワードを入力します。

2 **キーワードを入力して、［検索］をクリックする。**

入力したキーワードを含む項目が表示されます。

キーワードリストを表示したいときは、［全キーワードを表示する］をクリックします。

該当するキーワードがない場合は、「キーワードが見つかりません」と表示されます。

3 **表示したいキーワードを選んでクリックする。**

選んだキーワードの解説がメインウィンドウに表示されます。

キーワードリストから探す

1 **ナビゲーションウィンドウ上部の［キーワード検索］をクリックする。**
キーワードリストが表示されます。

2 **キーワードリストから表示したい項目を選んでクリックする。**
選んだキーワードの解説がメインウィンドウに表示されます。

ご注意

- 英単語のキーワードを入力するときは、半角文字で入力してください。
- キーワードリストの中で黒字で表示されている項目は、キーワード検索の対象には含まれません。
  また、黒字で表示されている項目を選択して表示することはできません。

便利な使いかた

本機のオンラインマニュアルを表示しているブラウザの機能を使って、より便利に使いこなすことができます。

- 前のページに戻るには
  メインウィンドウ上の［戻る］をクリックします。
- 元のページに戻るには
  メインウィンドウ上の［進む］をクリックします。
- 見ている画面を印刷するには
  ［ファイル］メニューから［印刷］を選んでクリックし、プリンタの設定を確認して［OK］をクリックします。
- 章ごとに印刷するには
  Microsoft Internet Explorerを使って表示しているときのみ、章の内容を一度に印刷することができます。
  ナビゲーションウィンドウの［マニュアルの使いかた］をクリックして［このマニュアルについて］を選び、メインウインドウの［便利な使いかた］をクリックすると、章タイトルの一覧が表示されるので、印刷したい章タイトルをクリックします。印刷するには、印刷したい章をメインウィンドウに表示させてから、［ファイル］メニューの［印刷］を選び、［リンクドキュメントをすべて印刷する］のチェックボックスをクリックし、チェックしてから印刷してください。

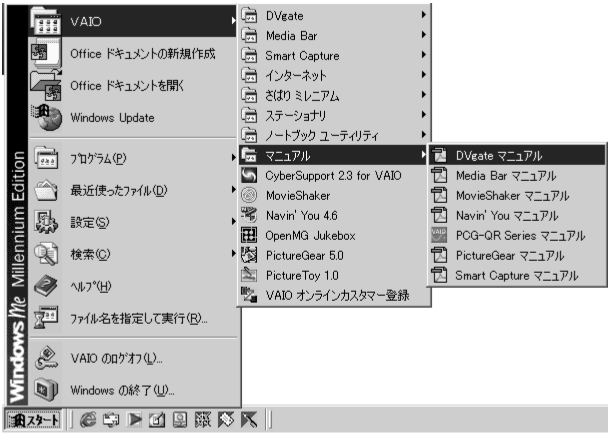
マニュアルデータの保存場所

オンラインマニュアルのデータは、「C:￥Program files￥Sony￥manual￥」フォルダに保存されています。誤ってこのフォルダを消去してしまわないようにご注意ください。

付属ソフトウェアのオンラインマニュアルを見るには

付属ソフトウェアのオンラインマニュアルを見るには、本機の電源が入っている状態で、次のように操作します。
付属ソフトウェアのオンラインマニュアルを見るには、「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアを使います。

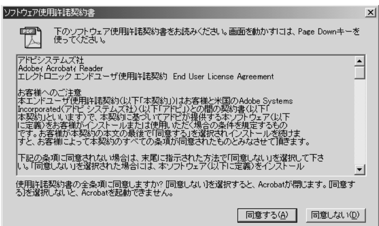
[スタート] ボタンをクリックして [VAIO] にポインタを合わせ、[マニュアル] を選び、見たいオンラインマニュアルをクリックする。



本機に付属の「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動し、オンラインマニュアルが表示されます。

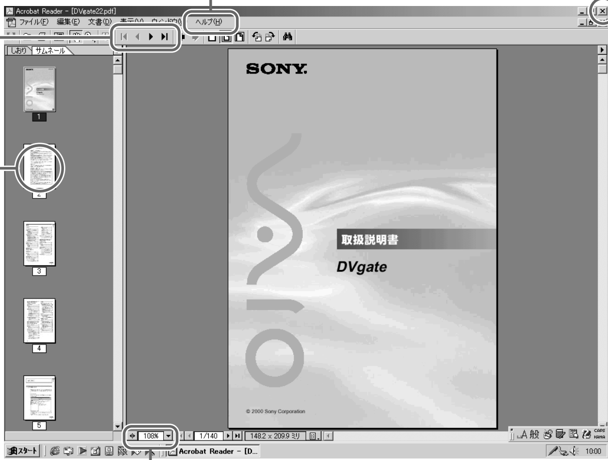
「Adobe Acrobat Reader」を初めて起動したときは

「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、契約書の内容を読み、[同意する] をクリックしてください。



オンラインマニュアルの見かた

サムネール（縮小表示）やしおりを見たいときは、［アイコン］をクリックし、それぞれのタブをクリックします。
詳しくは、「Adobe Acrobat Reader」のヘルプメニューをクリックしてヘルプをご覧ください。



ヘルプを見るには

ソフトウェアによってヘルプの見かたが異なり、以下の2通りあります。
本機の電源が入っている状態で操作します。お使いになるソフトウェアのヘルプの開きかたや使いかたについて詳しくは、本機オンラインマニュアルの「付属ソフトウェア」内、各ソフトウェアの「操作がわからなくなったときは」、または各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。

- ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、各ソフトウェアを選び、ヘルプ または をクリックする。
- ソフトウェアを起動し、［ヘルプ］メニューをクリックする。

困ったときは

トラブルを解決するには

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに下記の流れに従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　オンラインマニュアルやヘルプで調べる

- 本書内の「主なトラブルとその解決方法」(63ページ) をチェックする。
- 本機オンラインマニュアルの「困ったときは」や関連する項目(キーワード検索など)
- ソフトウェアのオンラインマニュアルやヘルプ
- Windows Me のヘルプ
  デスクトップ画面左下の[スタート] ボタンをクリックし、[ヘルプ]をクリックして、「ヘルプとサポート」をご覧ください。
- 「サイバーサポート (CyberSupport 2.3 for VAIO)」ソフトウェア
  付属の「CyberSupport 2.3 for VAIO」ソフトウェアを使うと、上記のマニュアルかVAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ(よくある質問とその回答) などから自動的に解決方法を検索できます。
  使いかたについて詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

手順2　VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する

VAIOカスタマーリンク ホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載しています。
VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

手順3　VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる

62ページのお問い合わせ先にご相談ください。

「CyberSupport for VAIO」をはじめてお使いになるときは

VAIOカスタマーリンクのホームページにアクセスし、「CyberSupport 2.3 for VAIO」ソフトウェアで検索できる情報を更新してください。
更新するには、インターネットに接続した状態で、画面左下の［最新のデータに更新］をクリックします。自動的に、情報が更新されます。最初に更新するときは数十分時間がかかることがありますので、ご注意ください。
操作について詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。
また、この機能を使うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク

電話番号　（0466）30-3000

受付時間

平日　10時～20時

土、日、祝日　10時～17時

（年末年始は除く）

一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。

- お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。
- 付属のソフトウェアについては、本機オンラインマニュアルの「付属ソフトウェア」、または「付属ソフトウェアについて」（119ページ）をご覧になり、各ソフトウェアのお問い合わせ先へお電話ください。

お電話の前に以下の内容をご用意ください

① お客様のVAIOカスタマーID

② 本機の型名：IDラベル（16ページ）または、保証書に記載されています

③ 本機の製造番号：保証書などに記載されている7桁の番号です

④ カスタマー登録していていただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

　発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

⑤ 本機に接続している周辺機器名：メーカー名と型名

⑥ 表示されたエラーメッセージ

⑦ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

⑧ トラブルが発生する前または直前に行った操作

⑨ トラブルがどのくらいの頻度で再現するか

⑩ その他お気づきの点

修理の場合は

⑪ VAIOカルテ：修理をお申し込みになるとき

⑫ 筆記用具：修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です

主なトラブルとその解決方法

ここでは、本機の主なトラブルとその解決方法を説明します。

ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」（31ページ）の手順に従い、いったん電源を切ってください。
他の方法で本機の電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。

電源が入らない。（⏻（パワー）ランプがつかないとき）

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。ACアダプタやバッテリが正しく接続されていることを確認した上で、以下のいずれかの操作を行ってください。

→ **プログラム動作中に異常が発生したので電源を切った場合**

プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。クリップなどの細い棒で本機後面のリセットスイッチ（19ページ）を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。それでも電源が入らない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから再度取り付け直し、電源を入れてください。

→ **寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、または湿度の高い場所で使用する場合**

本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。また、湿度の高い場所（80%以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

電源を入れても画面に何も映らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯するとき）

→ **プログラム動作中に異常が発生したので電源を切った場合**

クリップなどの細い棒で本機後面のリセットスイッチ（19ページ）を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。それでも電源が入らない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから再度取り付け直し、電源を入れてください。

→ **寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、または湿度の高い場所で使用する場合**

本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。また、湿度の高い場所（80%以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

→ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。Fnキーを押しながら、F7キーを何回か押す。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（47ページ）をご覧ください。

電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

→ 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作などを確認してください。

→ 使用中のソフトウェアをすべて終了する。

→ PCカードをお使いの場合は、本機オンラインマニュアルの「拡張する」内の「PCカードを取り付ける／取り出す」の手順に従ってPCカードを取り出す。

→ USB機器を接続しているときは取りはずす。

→ 周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。Windows Meは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

→ **「電源を切る」（31ページ）の操作をしても、「Windowsを終了しています」または「電源を切る準備ができました」と表示されたまま動かない場合**

まず、Enterキーを押します。それでも電源が切れない場合は、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

→ **［スタート］メニューから［Windowsの終了］を選んでも電源が切れない場合**

Altキーを押しながらF4キーを数回押して「Windowsの終了」画面を表示させます。▼ をクリックし、「終了」を選んでから、［OK］をクリックしてください。
Altキーを押しながらF4キーを数回押しても「Windowsの終了」画面が表示されない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、「プログラムの強制終了」画面が表示されたら、［シャットダウン］をクリックしてください。
それでも電源が切れない場合は、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

次のページにつづく

→ **本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにしても、電源が切れない場合**

クリップなどの細い棒で本機後面のリセットスイッチ（19ページ）を押してください。
シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。

→ 上記の操作を行っても電源が切れない場合は、ACアダプタとバッテリをはずしてください。

これらの操作を行うと、作成中のデータが破壊されるおそれがあります。また、本機の電源を入れ直した際、「スキャンディスク」ユーティリティが実行されたり、Safe modeで起動することがあります。その場合は、Windowsのデスクトップ画面が表示されるまで画面の指示に従って操作し、その後「電源を切る」（31ページ）の手順に従っていったん本機の電源を正しく切ってください。

省電力動作モードに移行せず、すぐに戻ってしまい、Windowsの動作状態が不安定になる。

→ 使用中のソフトウェアを終了して、本機を再起動してください。再起動できない場合は、⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

電源が勝手に切れた。

→ 通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

Windowsの起動

電源を入れると、「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが出て、Windowsが起動できない。

→ フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っているときは、イジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

電源を入れると、「Operating system not found」と表示され、Windowsが起動できない。

→ 再起動してもこのメッセージが表示されWindowsが起動しない場合は以下の項目を確認してください。

→ フロッピーディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動する。

→ 再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。本機に付属のリカバリ CDを使って、パーティションサイズを変更し、本機を再セットアップしてください。詳しくは、「パーティションサイズを変更する」（103ページ）をご覧ください。

電源を入れると「System Disable」と表示され、Windowsが起動しない。

→ パワーオンパスワードを3回間違えて入力すると、「System Disable」と表示されWindowsが起動しません。本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。パスワードを入力する際は、🔒1(Num Lock）ランプや 🔒A(Caps Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯してる場合は、Num LkキーまたはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

ハードディスクから起動できない。

→ フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認する。

電源を入れたあと、「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示され、Windowsが起動しない。

→ 内蔵バックアップバッテリが消耗している。
以下の操作を行ってください。

1 電源を入れ、SONYのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
画面左下に「Entering Setup...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering Setup...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

次のページにつづく

2 日時を確認する。

「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認する。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

①［System Date］の項目に月／日／年（西暦）を入力する。

例：2000年1月31日と設定するには、1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2000＋Enterキーの順で入力します。

②↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。

例：午後2時35分00秒と設定するには、14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

3 Escキーを押す。

4 ↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

5「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

6［Exit(Save Changes)］が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。

7「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

インターネット

ダイヤルできない。

→ テレホンコードの接続を確認する。

「発信音が聞こえません」とメッセージが表示されたときは、本体側のモジュラジャックと壁側の電話回線のコンセントの接続を確認します。「カチッ」と音がするまでモジュラジャックに差し込んでください。また、予備のテレホンコードがあれば、テレホンコードを交換して試してみます。詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（32ページ）をご覧ください。

→ 分配器を使わずに、電話回線のコンセントにテレホンコードを直接接続しているか確認する。また、テレホンコードが長すぎないか、電話機の子機に接続していないか確認する。詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（32ページ）をご覧ください。

→ 3分以内に3回以上同じところにダイヤルした場合はリダイヤル規制がかかり、連続してダイヤルすることができません。3分以上時間をおいてからリダイヤルしてください。

→ モデムがWindowsに正しく認識されているか確認します。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2［モデム］アイコンをダブルクリックする。

はじめてモデムを使用するときは、「所在地情報」の入力をしてください。
探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3［検出結果］タブをクリックする。

4「Conexant-Ambit SoftK56 Data,Fax ICH Modem」が表示されているポートを
選択し、［詳細］をクリックする。

「詳細...」画面が表示されたら、モデムは正しく認識されています。

正しく認識されていないときは次の点を確認してください。

COMポートのリソース（IRQなど）が他のデバイスと競合していないか
確認します。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

3［デバイス マネージャ］タブをクリックする。

デバイスのアイコンに「！」がついているものは、他のデバイスと競合を起こしています。

競合している場合は

競合しているデバイスをダブルクリックしてプロパティを開き、［全般］タブの「デバイスの使用」で［このハードウェア プロファイルで使用不可にする］をクリックしてチェックを付け、［OK］をクリックします。
また、競合しているデバイスが着脱可能な場合は、本機から取りはずせば競合は解消します。

→ ダイヤルトーンを待たずにダイヤルする。

外線発信番号を設定している場合など、ダイヤルトーン（受話器を上げたときの「ツー」という音）を待たずにダイヤルするよう、以下の手順で設定します。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2［モデム］アイコンをダブルクリックする。

3［全般］タブに表示されているモデムから使用したいモデムを選択し、［プロパティ］をクリックする。

4［接続］タブをクリックし、「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。

5［OK］をクリックする。

6「モデムのプロパティ」画面の［閉じる］をクリックする。

モデムはダイヤルしているが、接続できない。

うまく接続できないときは、以下の項目を確認してください。

→ お使いの電話回線がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、モデムのダイヤル方法を確認する。詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」(32ページ) をご覧ください。

→ 接続先の電話番号を再確認する。

「ダイヤルしたコンピュータが応答しませんでした」といったメッセージが表示されたときは、接続先の電話番号を再確認してください。
接続先のサーバーが停止している可能性がありますので、時間をおいて再度ダイヤルしなおしてください。

→ 接続中の動作が長く続くとき

接続中の動作が長く続き、接続が完了しないときは、いったん回線を切断してかけ直します。高い通信速度で接続する場合、まれに接続に失敗して、接続確認の動作が終わらなくなることがあります。

→ ダイヤルアップネットワークやプロトコルの設定を確認する。

「ダイヤルアップネットワークによる接続を完了できませんでした。」
といったメッセージが表示されるときは、下記の手順でプロバイダやネットワークに接続するための設定を確認します。
設定などに問題がなかった場合は、ダイヤルアップネットワークとプロトコルを組み込み直してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［ダイヤルアップネットワーク］アイコンをダブルクリックする。
探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 接続先のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

4 契約しているプロバイダから提供された資料に従って設定を確認する。

特に、次の点を重点的に確認してください。

- ［全般］タブ
  「接続方法」と「電話番号」の設定
- ［ネットワーク］タブ
  「ダイヤルアップサーバーの種類」の設定で「PPP：インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」が選択されていることと、「使用できるネットワークプロトコル」の「TCP/IP」がチェックされていることを確認してください。また、「TCP/IP設定」をクリックし、その設定内容も確認してください。

携帯電話を使って接続できない。

→ 所在地情報を確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2［モデム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3［ダイヤルのプロパティ］をクリックする。

4［所在地情報］タブの「市外局番」に何も入力されていないときは、「000」や「999」など実在しない番号を入力する。

インターネットに接続できない。

→ デスクトップ画面上の［インターネットに接続］アイコンをダブルクリックして設定を確認する。

→ インターネット接続について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（32ページ）および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

最高の通信速度で通信できない。

→ 回線が混み合っている場合や回線の品質が悪い場合は、エラーが発生しないよう自動的に通信速度を落とします。

電子メールが送受信できない。

→ お使いになっているメールソフトウェアの設定を確認してください。

液晶ディスプレイ・外部ディスプレイ

液晶ディスプレイに何も表示されない。

→ LCD/Videoスタンバイモードになっている。キーボードのいずれかのキーを押す。

→ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。Fnキーを押しながら、F7キーを何回か押す。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(47ページ) をご覧ください。

液晶ディスプレイが暗い。

→ Fnキーを押しながら、F5キーを押すと、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(47ページ) をご覧ください。

→ 本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に30分以上操作しないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります (LCD/Videoスタンバイ)。タッチパッドに触れるかキーボードのいずれかのキーを押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリで長時間使用できるようにするため、工場出荷時の設定では、バッテリでご使用中に数分間以上操作をしないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります (LCD/Videoスタンバイまたはスタンバイ)。さらに数分間以上操作をしないとシステムの状態をハードディスクに書き込んでから自動的に本機の電源を切ります (休止状態)。

元の状態に復帰させるには、⏻ (パワー) ランプの状態により次の操作を行ってください。

- ⏻ (パワー) ランプがグリーンで点灯 (LCD/Videoスタンバイ)
  キーボードのいずれかのキーを押す。
- ⏻ (パワー) ランプがアンバー (赤褐色) で点滅 (スタンバイ)
  キーボードのいずれかのキーまたは⏻ (パワー) ボタンを押す*。
- ⏻ (パワー) ランプが消灯 (休止状態または電源オフ)
  ⏻ (パワー) ボタンを押す*。

  * ⏻ (パワー) ボタンを4秒以上押しつづけると、保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

外部ディスプレイに何も表示されない。

→ Fnキーを押しながら、F7 キーを何回か押す。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」(47ページ) をご覧ください。

外部ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい。

→ ディスプレイの調整つまみで設定する。詳しくは、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

デスクトップ画面上にウィンドウやアイコンの軌跡が残る。

→ ⊞キーを押しながらDキーを2回押す。

タッチパッド・キーボード

指がタッチパッドの端まできてしまい、これ以上動かせない。

→ 指をいったんタッチパッドから離し、中央に戻す。

タッチパッドが働かない。

→ タッチパッドが無効になっている。タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「設定を変更する」内「「Sony Notebook Setup」で本機の使用環境を設定する」の「タッチパッドを無効にする／有効にする」をご覧ください。

→ 本機のタッチパッドは、人体の静電容量を利用して位置情報を求めているため、静電気の放電により一時的に動作しなくなることがあります。
この場合、数分間放置すれば通常の動作に戻ります。

画面上のポインタが動かない。

→「バッテリ低下」のメッセージが表示されている場合は、Enterキーを押して、画面を閉じる。

→ ⊞ キーを押して［スタート］メニューを表示させ、↑キーを押して［Windowsの終了］を選んでEnterキーを押し、↑キーまたは↓キーを押して［終了］または［再起動］を選び、Enterキーを押す。

→ 上記の操作で電源が切れないときは、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを2回押し、本機を再起動する。

→ 以上の操作でも何も起こらないときは、⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切る。

→ CD-ROMを再生しているときなどにポインタが動かなくなってしまった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、CD-ROMの再生を強制的に終わらせ、本機を再起動する。

画面上のすべてのものが動かなくなってしまった。

→ CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを2回押して本機を再起動する。

キーボードを使って正しく入力できない。

→ U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。
1（Num Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

→ 異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。下記の手順で設定を確認してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 ［デバイス マネージャ］タブをクリックする。

4 キーボードの項目が「106日本語（A01）キーボード（Ctrl+英数）」に設定されているか確認する。

→ 市販のUSB機器（キーボードやテンキーなど）を本機に接続したときなどに、本機のキーボードのキーボード配列が101英語キーボードの設定になり、正しくキーボード入力できないことがあります。その場合は下記の手順に従って操作し、日本語キーボードの設定に戻してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックする。

3 ［デバイス マネージャ］タブをクリックする。

4 「キーボード」の［+］をクリックする。

5 表示される項目から［106日本語(A01)キーボード（Ctrl+英数）］を選んで右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

「106日本語(A01)キーボード（Ctrl+英数）のプロパティ」が表示されます。

6 ［ドライバ］タブをクリックし、［ドライバの更新］をクリックする。

「デバイス ドライバの更新 ウィザード」が表示されます。

7 「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、「次へ」をクリックする。

8 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する。」を選択し、［次へ］をクリックする。

9 「すべてのハードウェアを表示する」を選択する。

「製造元」と「モデル」の一覧が表示されます。

10 「製造元」は［（標準キーボード）］を、「モデル」は［106日本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)］をそれぞれクリックして選び、［次へ］をクリックする。

11 ドライバの更新警告メッセージが表示されたら、［はい］をクリックする。

「デバイス ドライバの更新ウィザード」が表示されます。

12「106日本語(A01)キーボード（Ctrl+英数)」のドライバがインストールされることを確認してから、［次へ］をクリックする。

ドライバのインストールが始まります。インストールが終わると、「ハードウェア デバイス用に選択したドライバがインストールされました」と表示されます。

13［完了］をクリックする。

「システム設定の変更」画面が表示されます。

14［はい］をクリックする。

本機が再起動し、キーボードが日本語キーボードの設定に戻ります。

キートップがはずれた。

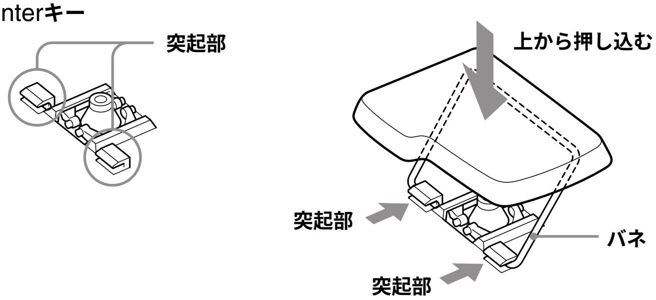
→ EnterキーとShiftキー、スペースキーがはずれた場合は、以下の図に従って取り付けてください。

その他のキートップがはずれたときは、元の位置に戻して「カチッ」と音がするまで上から押し込んでください。

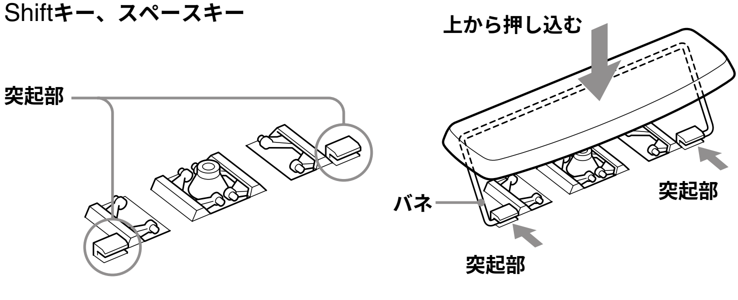
キートップの取り付けかた

キートップから針金のバネを取りはずして、突起部にひっかけ、キートップの中心を合わせて「カチッ」と音がするまで上から押し込みます。

Enter**キー**



Shift**キー、スペースキー**

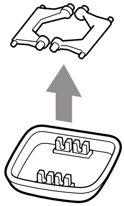


次のページにつづく

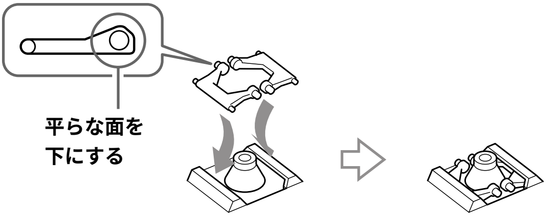
困ったときは

→ キートップと一緒にプラスチックのバネもはずれた場合は、下記の手順に従って取り付けてください。

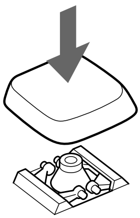
1 キートップからプラスチックのバネを取りはずす。



2 バネの平らな面を下にし、向きを確認してからキーボードに取り付ける。



3 キートップを元の位置に戻して「カチッ」と音がするまで上から押し込む。



ご注意

- キートップを故意にはずさないでください。故障の原因となります。
- 取り付けるときに無理に力を加えると破損の原因となります。取り扱いには充分ご注意ください。

フロッピーディスク

フロッピーディスクが取り出せない。

→ USBフロッピーディスクドライブを取りはずして、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ フロッピーディスクの容量の空きがない。容量の空きが充分にある別のフロッピーディスクを使って保存し直す。

「書き込み禁止」というメッセージが表示された。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「フロッピーディスクを使う」の「フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする」をご覧ください。

「マイ コンピュータ」からフロッピーディスクを選んで初期化しようとしたができない。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にする。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「フロッピーディスクを使う」の「フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする」をご覧ください。

→ フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブにきちんと入っているか確認する。

→「アプリケーションが使用中です」というメッセージが出たときは、フロッピーディスクの内容が画面で表示されている。画面表示されているときは初期化できないので、フロッピーディスクのウィンドウを閉じる。

フロッピーディスクから起動できない。

→ フロッピーディスクから起動する場合は、本体右側面の Ψ（USB）コネクタにUSBフロッピーディスクドライブを接続してください。

CD-ROM

CD-ROMが再生できない。

→ ディスクが正しくトレイに置かれているか確認する。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内「CDなどのディスクを使う」の「ディスクを入れる／取り出す」をご覧ください。

→ ディスクの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。（114ページ）

→ 結露が生じている可能性があります。1時間くらい待って電源を入れ直してから、もう1度再生してみる。

→ 再生音量を確認する。

ディスクの再生時、音がとぎれる。

→ ディスクの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとる。（114ページ）

→ 再生用のバッファの量を調整する。詳しくは、Windows Meのヘルプをご覧ください。

ディスクが取り出せない。

→ 本機が省電力動作モードのときは、ディスクを取り出せません。通常モードに復帰させてから、イジェクトボタンを押してください。省電力動作モードについて詳しくは、本機オンラインマニュアルの「VAIO Inform@tion」内「知っ得情報」の「省電力動作モードについて」をご覧ください。

イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。

→ 針金のようなもの（太めのクリップで代用可）を、マニュアルイジェクト穴（18ページ）に押し込んでください。

DV機器・i.LINK機器

DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

→ DV機器の電源が入っているか、またはケーブルが正しく接続されているか確認する。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「拡張する」内「i.LINK対応機器とデータをやりとりする」の「i.LINK対応機器をつなぐ」をご覧ください。

→ i.LINKでは、複数の機器を接続して動くように設計されていますが、機器との組み合わせによっては、動作が不安定になることがあります。接続されている機器すべての電源をいったん切り、なるべく不要な機器を取りはずして、ケーブルの接続を確認した後、再度電源を入れてください。

本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

→ いったんi.LINKケーブルを抜き、再度接続し直してください。詳しくは、本機オンラインマニュアルの「拡張する」内「i.LINK対応機器とデータをやりとりする」の「i.LINK対応機器をつなぐ」をご覧ください。

「DVgate」ソフトウェアを使用してテープに録画中、「DV機器への録画に失敗しました。DV機器の電源、接続の状態を確認して操作をやり直してください」というメッセージが表示される。

→ DV機器の電源やケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。
また、続けて録画を行っていると、機器が正しく接続されていても、録画できなくなる場合があります。その場合、すべてのソフトウェアを終了してから本機を再起動してください。
さらに快適な環境でご使用いただくためには、メモリの増設をおすすめします。詳しくは、「メモリを増設する」(91ページ)をご覧ください。

「DVgate」ソフトウェアを使用中にフレーム落ちが生じる。

→ 使用状況によってはフレーム落ちが生じることがあります。その場合は、メモリの増設をしてください。詳しくは、「メモリを増設する」(91ページ)をご覧ください。

プリンタ

プリンタで印刷できない。

→ Windows Me対応でないプリンタドライバではお使いになれません。

→ お使いのプリンタの製造元からWindows Meに対応したドライバを入手してお使いいただくか、プリンタの製造元へお問い合わせください。

PCカード

PCカードが使えない。

→ Windows Me対応でないPCカードは使えないことがあります。

→ 以前使用できたPCカードが使用できなくなった場合は、下記の手順でドライバの更新を行ってください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 ［デバイス マネージャ］タブをクリックする。

4 動作しないPCカードをダブルクリックして、プロパティ画面を表示する。

5 ［ドライバ］タブの［ドライバの更新］をクリックする。

→ 以下の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、PCカードに「！」がついている場合は、ドライバを削除してインストールし直してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックする。

3 ［デバイス マネージャ］タブをクリックする。

スピーカー

スピーカーから音が出ない。

→ 本機の内蔵スピーカーが「切」になっている。Fnキーを押しながら、F3キーを押す。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（47ページ）をご覧ください。

→ 本機の内蔵スピーカーの音量が最小になっている。Fnキーを押しながら、F4キーを押したあと、↑または→キーを押して音量を上げる。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（47ページ）をご覧ください。

→ 🎧コネクタにケーブルをつないでいるときは、ケーブルをはずす。

Fnキーを押しながらF3キーまたはF4キーを押しても、何も表示されない。

→ 以下の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、サウンドデバイスを使用できるように設定してください。

1 [スタート] ボタンをクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロールパネル] をクリックする。

2 [システム] アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、[すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

3 [デバイス マネージャ] タブをクリックする。

「Windows Media Player」ソフトウェアで再生中、音声に雑音が混じる。

→ 「Media Bar」ソフトウェアで再生してください。

マイク

マイクが使えない。

→ 録音デバイスとしてマイクが選択されていない可能性があります。下記の手順に従って選択してください。

1 デスクトップ画面右下の  をダブルクリックする。

2 [オプション] メニューから [プロパティ] を選ぶ。

3 「音量の調整」の [録音] と「表示するコントロール」の「マイク」をチェックし、[OK] をクリックする。

4 「マイク」の「選択」がチェックされていることを確認する。

チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

5 スライダを上下に動かして好みの音量に調整する。

→ 「Media Bar」などの音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。

→ プラグインパワー方式以外のマイクはお使いになれません。

音声を扱うソフトウェアでエラーメッセージが表示された。

→ 他の音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。

ファン

ファンの音が大きい。

→ 「PowerPanel」ソフトウェアの「放熱制御の方法」を「サイレント」に変更する。詳しくは、「PowerPanel」のヘルプをご覧ください。

パスワード

パスワードを忘れた。

→ パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

省電力動作モード

設定した省電力動作モードに移行しない。（最初にお読みください）

下記の手順で現在の設定を確認してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［アクセサリ］を選んで、［システムツール］を選び、［システム情報］をクリックする。

「ヘルプとサポート」画面が表示されます。

2 ［ツール］メニューの［システム設定ユーティリティ］をクリックする。

「システム設定のユーティリティ」画面が表示されます。

3 ［全般］タブの［詳細設定］をクリック

「アドバンストラブルシューティングの設定」画面が表示されます。

ここで下記の項目を確認します。

- 「スタンバイ機能は使用可能です」と表示されているか？
  「スタンバイ機能は使用不可です」と表示されていたら［使用可能にする］ボタンをクリックします。
  初期設定では使用可能になっており、［使用可能にする］ボタンは表示されていません。
- 「休止機能は使用可能です」と表示されているか？
  「休止機能は使用不可です」と表示されていたら［使用可能にする］ボタンをクリックします。
  初期設定では使用可能になっており、［使用可能にする］ボタンは表示されていません。

4 設定後［OK］をクリックし、再起動する。

「VAIO Action Setup」で省電力動作モードにならない。

動作しているプログラムやデバイスによっては、省電力動作モードに移行できないことがあります。

バッテリ残量がわずかなのに、休止状態にならない。

→ 使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windows からの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

休止状態に移行できない。

下記の操作を行ってください。

→ モデム通信やプリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にする。

→ Fnキーを押しながらF12を押して休止状態に移行できない場合は、下記の手順で「Hotkey Utility」が表示されるか確認してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。

「Hotkey Utility」が表示されるか確認してください。表示されない場合は、ジョグダイヤルを使って「電源管理（PowerPanel）」の  を選択してください。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

→ それでも休止状態に移行できない場合は、以下の手順で操作してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［電源の管理］アイコンをダブルクリックする。

3 ［休止状態］タブで「休止状態をサポートする」がチェックされているか確認する。

チェックされていないときは、チェックボックスをクリックしてチェックしてください。

ハードディスク

誤ってハードディスクを初期化してしまった。

→ リカバリ CDを使って、本機を再セットアップする必要があります。詳しくは、「リカバリ CDで本機を再セットアップする」（97ページ）をご覧ください。

ハードディスクから起動できない。

→ フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っていないか確認する。

次のページにつづく

文字入力

日本語が入力できない。

→ 本機オンラインマニュアルの「基本的な使いかた」内の「文字を入力する」をご覧ください。

キーボードを使って正しく入力できない。

→ U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。
(Num Lock) ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

→ 以下の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、キーボードの項目が「106日本語（A01）キーボード（Ctrl+英数)」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 ［デバイス マネージャ］タブをクリックする。

入力した文字が表示されない。

→ 文字を入力したいソフトウェアの画面が前面に出ていない。（ディスプレイ上では薄い色の画面になります。）画面のどこかをクリックするか、Altキーと Tabキーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出し、使える状態にする。

その他

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると…」に見られるような被害が起きてしまいます。
コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

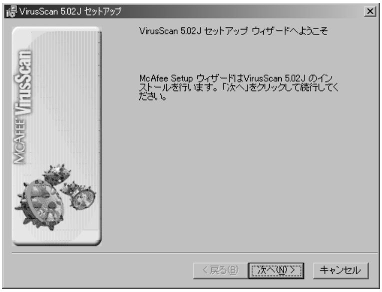
コンピュータウイルスに侵入されると…

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルが勝手に消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスク上の空き容量が急に小さくなる。

本機には、コンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして「VirusScan」が用意されています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。
本機で「VirusScan」を初めてお使いになるときは、次の手順に従ってインストール作業を行ってください。また、90ページの注意事項もあわせてご覧ください。
なお、「VirusScan」について詳しくは「VirusScan」のヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。
日本ネットワークアソシエイツ株式会社　テクニカルサポート
電話番号：(03) 5428-1101

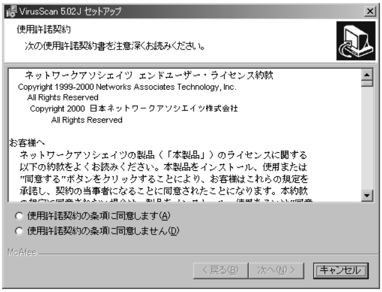
1 ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［McAfee VirusScan］から［McAfee VirusScan セットアップ］をクリックする。

「VirusScan 5.02J セットアップ」画面が表示されます。



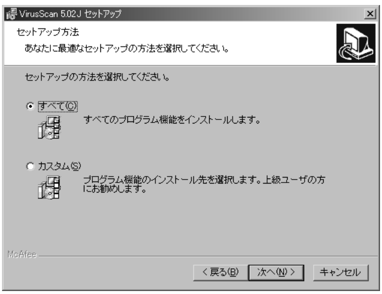
2 ［次へ］をクリックする。

「使用許諾契約書」画面が表示されます。



3 内容を確認後、「使用許諾契約書の条項に同意します」を選択して［次へ］をクリックする。

「セットアップ方法」画面が表示されます。

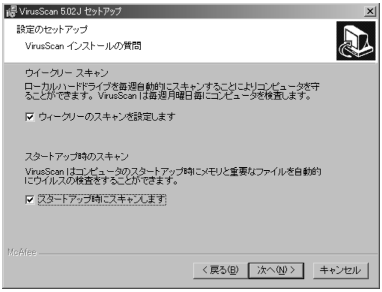


その他

次のページにつづく

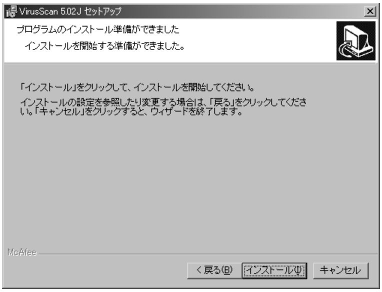
4 ［すべて］を選択して［次へ］をクリックする。

「設定のセットアップ」画面が表示されます。



5 「ウィークリーのスキャンを設定します」と「スタートアップ時にスキャンします」をそれぞれクリックしてチェックをはずし、［次へ］をクリックする。

「プログラムのインストール準備ができました」画面が表示されます。

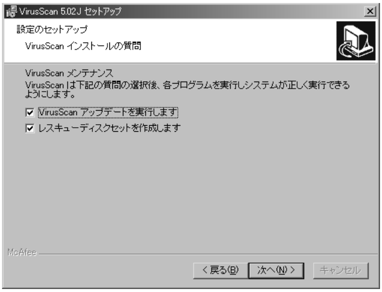


6 ［インストール］をクリックする。

インストールが始まります。

7 「設定のセットアップ」画面が表示されたら、セットアップ方法を選択して［次へ］をクリックする。

どちらのセットアップ方法も、インストール手順が終了してからでも行うことができます。その場合は、それぞれのチェックをはずしてください。



ご注意

- 「VirusScan アップデートを実行します」を選択すると、インターネットへ接続してVirusScanのアップデートを行います。インターネットへ接続するための設定をしていない場合は、ここではチェックをはずしてください。
  インストール終了後にアップデートすることもできます。
  また、インターネット接続について詳しくは、別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。
- レスキューディスクを作成するには、別売りのUSBフロッピーディスクドライブPCGA-UFD5が必要です。

8 「Readmeの表示」画面が表示されたら、「セットアップ完了時にVirusScanのReadmeファイルを表示する」がチェックされていることを確認してから［次へ］をクリックする。

インストールが終了すると、Readmeファイルが表示されます。

9 ［完了］をクリックする。

これでインストールは完了です。

「VirusScan」をご使用になる際のご注意

- インストールを行うと、次回起動時から「McAfee VShield」がデスクトップ画面右下のタスクトレイに常駐し、ウイルスの自動監視を行います。メモリに常駐するため、Windowsのシステムリソースを消費します。また、Windowsの起動時間が長くなる場合があります。
  以下の方法でアンインストールを行えば、工場出荷時の状態に戻すことができます。
  1 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。**
  2 **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。**
  3 **「インストールと削除」タブのプログラム一覧から**［VirusScan 5.02J］**を選択し、［追加と削除］をクリックする。**
  4 **「**VirusScan 5.02J **セットアップ」画面が表示されたら、［次へ］をクリックする。**
  5 **「プログラムの削除」画面が表示されるたら、［削除］をクリックする。**
  アンインストール作業が始まります。
  6 **「**VirusScan 5.02J **セットアップウィザード完了」画面が表示されたら、［完了］をクリックする。**
  これで、アンインストールは終了です。
- 新種のウイルスに対応するため、ウイルスに関するデータファイルは常に更新することをおすすめします。インターネット上で、下記のURLより最新データファイルを入手できます。
  http://www.nai.com/japan/
- ウイルスデータファイルの更新や「VirusScan」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「VirusScan」のヘルプをご覧ください。

メモリを増設する

別売りのソニー製メモリーモジュールPCGA-MM64N/MM128Nを取り付けることにより、データの処理速度や、複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

ご注意

- コンピュータ内部はとても精密にできています。そのため、メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。破損した場合は有償修理となります。
  メモリ増設に関するご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- 別売りのソニー製メモリーモジュールPCGA-MM64N/MM128N以外では、正常に認識されなかったり、Windowsの動作が不安定になるものがあります。別売りのソニー製メモリモジュール以外をお使いになる場合には、販売店またはメモリモジュールの製造メーカーにご相談ください。
- 水などの液体や、ネジなどの異物が入ると故障の原因となりますので、ご注意ください。

メモリモジュールを取り付ける

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが2つ（1つはすでにメモリが内蔵）あり、最大256 Mバイトまでメモリを増設できます。メモリを1枚しか使わない場合は、必ず右側のスロットに取り付けてください。
メモリモジュールの取りはずしかたについて詳しくは、「メモリモジュールを取りはずす」（95ページ）をご覧ください。

メモリモジュール取り扱い上のご注意

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  – メモリを増設するときは、静電気の起こりやすい場所（カーペットの上など）では作業しないでください。
  – 静電気を体から逃がすため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
  – メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

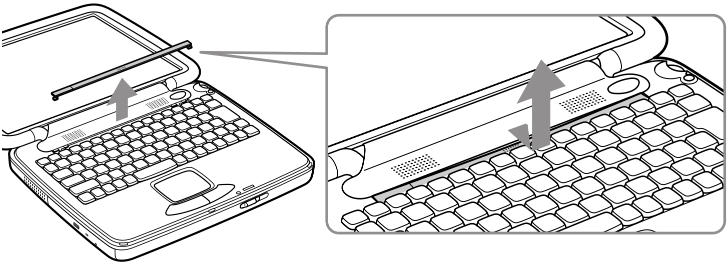
次のページにつづく

1 **本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、および接続しているすべての機器を取りはずす。**

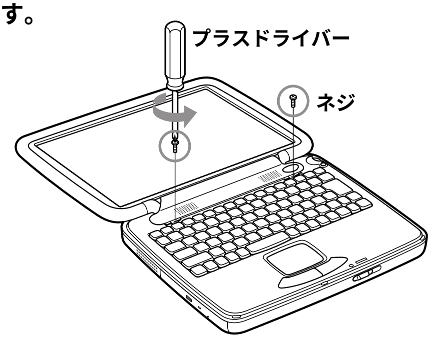
2 **しばらくしてからキーボードの上にある、プラスチックのカバーを取りはずす。**

プラスチックカバーの中央部分に指をのせて手前にスライドさせ、つまんで上に持ち上げるとはずれます。

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。電源を切って約1時間ほどおいてから作業を行ってください。



3 **キーボードを固定しているネジ（2か所）を、プラスドライバーで取りはずす。**

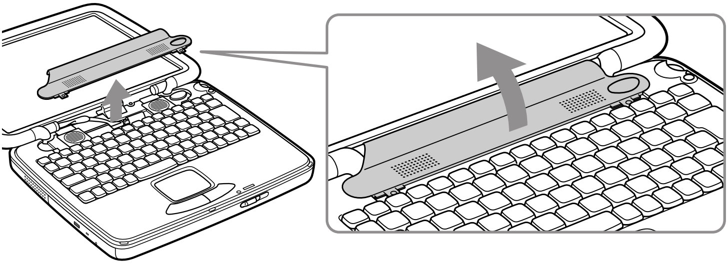


ご注意

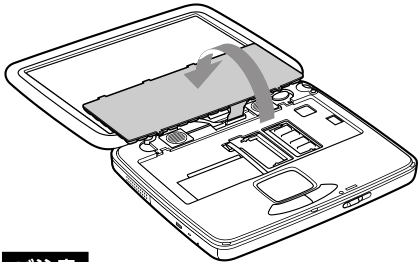
- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- はずしたネジが、周囲の穴から機器内に落ちないようご注意ください。

4 スピーカーカバーを取りはずす。

スピーカーカバーの手前中央部分に指をかけて少し強めに持ち上げると、パチンと音がしてスピーカーカバーがはずれます。



5 キーボードを液晶ディスプレイ側に持ち上げて、キーボード全体を裏返す。



ご注意

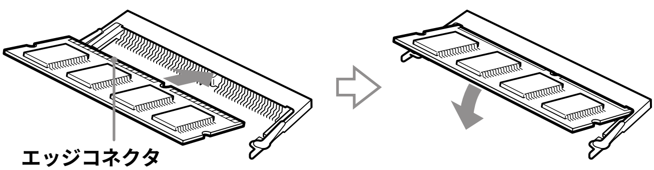
キーボードを裏返すときに、キーボードのケーブルは無理に引っ張りすぎないようにしてください。ケーブルが断線してしまうおそれがあります。

6 本体の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出す。

7 メモリモジュールを取り付ける。

① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、しっかりと差し込む。

②「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールを倒す。メモリモジュールの両端が固定されます。

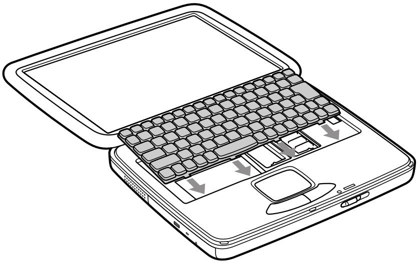


次のページにつづく

その他

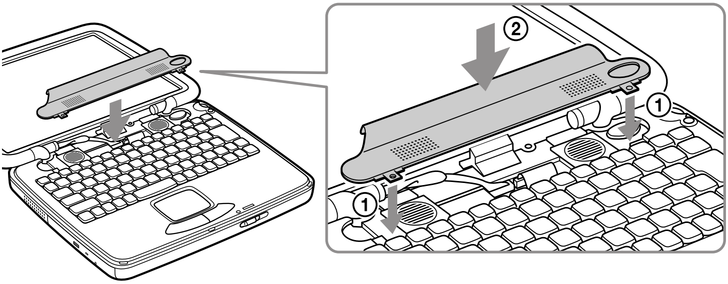
8 キーボードを戻す。

ケーブルが断線しないようにキーボードをゆっくり元の位置に戻し、本体に押し込んでください。



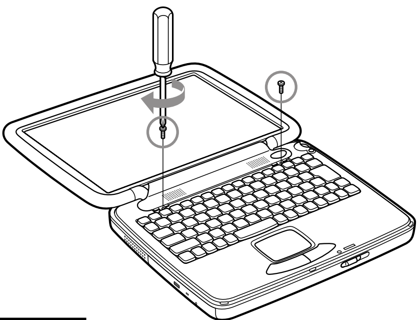
9 スピーカーカバーを戻す。

左右両端を合わせてから中央部分を上から押さえ、パチンと音がするまで押し込みます。



10 キーボードを固定しているネジを締める。

プラスドライバーでキーボードを固定するネジ（2か所）をしっかりと締めてください。

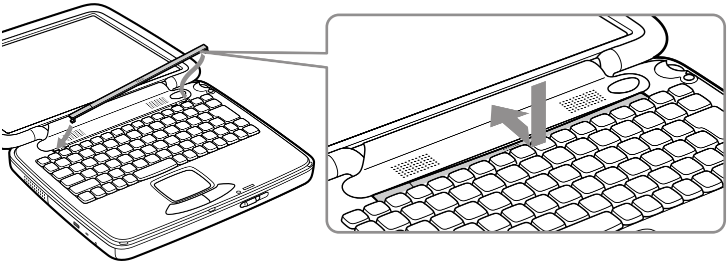


ご注意

はずしたネジが、周囲の穴から機器内に落ちないようご注意ください。

11 キーボード上部のプラスチックのカバーを戻す。

プラスチックカバーを軽くたわませ、両端のツメをはめてから、中央部に指をのせ液晶ディスプレイ側にスライドさせます。
プラスチックカバーは取り付け後にはずれにくいよう反っていますが、本体にはめるときは逆向きに少し反らせるようにすると、左右のツメを容易に差し込むことができます。



メモリモジュールを取りはずす

メモリモジュール取り扱い上のご注意

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  – メモリを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所（カーペットの上など）では作業しないでください。
  – 静電気を体から逃がすため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、および接続しているすべての機器を取りはずす。

2 「メモリモジュールを取り付ける」（91ページ）の手順2から4を行う。

電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。電源を切って約1時間ほどおいてから作業を行ってください。

3 本体の金属部に触れて体の静電気を逃がす。

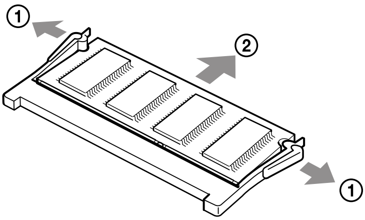
次のページにつづく

その他

4 メモリモジュールを取りはずす。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。



5 「メモリモジュールを取り付ける」(91ページ) の手順5から7を行う。

メモリの増設を確認する

1 本機の電源を入れる。

2 [スタート] ボタンをクリックして [VAIO] にポインタを合わせ、[ノートブック ユーティリティ] から [Sony Notebook Setup] をクリックする。

Sony Notebook Setupが起動し、「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

3 [システム情報] タブをクリックして、「システム メモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量の表示が正しければ、メモリの増設は完了しました。

メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切って、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。



リカバリ CDで本機を再セットアップする

ここでは、付属のリカバリ CDを使って、本機を再セットアップする方法を説明します。

リカバリ CDとは

付属のリカバリ CDには「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の2種類があり、出荷時のハードディスク内のすべてのファイルが保存されています。誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじめインストールされているソフトウェアを消してしまった場合には、「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って本機を再セットアップすることで、ハードディスクの内容を出荷時の状態に戻すことができます。
なお、再セットアップ後に付属のOffice 2000 Personalプレインストールパッケージで、Microsoft® Office 2000 Personalのすべての機能をインストールし直してください。

リカバリ CDを使うと、次のことができます

- ハードディスクを初期化したうえで、すべてのファイルを復元する。
- ハードディスクのパーティションサイズを変更する。
  詳しくは「パーティションサイズを変更する」（103ページ）をご覧ください。

ご注意

- 付属のリカバリ CDは本機でのみ使用できます。他の製品では動作しません。
- リカバリ CDで再セットアップできるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです。ご自分でインストールしたソフトウェアや、作成したデータを復元することはできません。またWindows Meだけを復元することもできません。
- ご自分で変更された設定は、再セットアップ後はすべて初期値に戻ります。
  再セットアップ後に、もう1度設定し直してください。
- 再セットアップする際は、必ず「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って行ってください。
  また、再セットアップ後に付属のOffice 2000 Personalプレインストールパッケージで、Microsoft® Office 2000 Personalのすべての機能をインストールし直してください。
  上記の操作を行わないと、本機の動作が不安定になる場合があります。

再セットアップする前に

本機を再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。

バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、再セットアップする。

  本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「本機を再セットアップするには」の手順4で「フォーマットしてリカバリ」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ご注意

「本機を再セットアップするには」の手順4で「パーティションサイズを変更してリカバリ」または「出荷時の状態へリカバリ」を選んだ場合は、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。

本機を再セットアップするには

すべての周辺機器をはずし、ACアダプタのみを接続してから、作業を行ってください。

Windowsが完全に起動できない場合などに本機を再セットアップするときは、「Windowsが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには」（101ページ）をご覧ください。

パーティションサイズを変更するときは、「パーティションサイズを変更する」（103ページ）をご覧ください。

ご注意

再セットアップした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。再セットアップを行う前に、大切なデータはフロッピーディスクに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 **本機の電源が入っている状態で、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.1 of 2」をCD-ROMドライブに入れる。**

自動的に「VAIO System Recovery Utility」が起動し、「はじめに」画面が表示されます。

2 **内容をよく読み、[次へ]をクリックする。**

3 **引きつづき内容をよく読んでから[同意する]をクリックし、[次へ]をクリックする。**

「メニュー選択」画面が表示されます。

[同意しない]をクリックすると、再セットアップ作業を続けることはできません。

4 **再セットアップの方法を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。**

通常は「フォーマットしてリカバリ」を選ぶことをおすすめします。

5 **画面の指示に従って操作し、「再起動してリカバリを開始します」画面が表示されたら、「リカバリを開始する」のチェックボックスをクリックして、[完了]をクリックする。**

自動的に本機が再起動します。

再セットアップを中止するときは、[キャンセル]をクリックします。

6 **SONYのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

ディスプレイ画面左下に「Entering Setup…」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。

「Entering Setup…」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

7 **Escキーを押す。**

8 **↑または↓キーで[Get Default Values]を選択し、Enterキーを押す。**

9 **「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。**

10 **[Exit (Save Changes)]が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。**

次のページにつづく

11 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

本機が再起動し、再セットアップが始まります。

12 「2枚目のディスクを入れてください。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.2 of 2」をCD-ROMドライブに入れ、いずれかのキーを押す。

再セットアップの続きが始まります。

13 「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終了したら、画面の指示に従って、「システム リカバリ CD-ROM Vol.2 of 2」を取り出してから何かキーを押し、本機を再起動する。

14 「新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されたら、そのまま長時間放置せずに［はい］をクリックして本機を再起動する。

15 「Windows Meを準備する」（26ページ）の手順1から8に従って、Windows Meのセットアップを行う。

16 Windowsのセットアップが終了したら、付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をCD-ROMドライブに入れる。

自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。
アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、［OK］をクリックして本機を再起動してください。

17 「VAIO初期設定マネージャ」が表示されたら、［OK］をクリックする。

システムの初期設定が始まります。
設定が終わると「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されるので、［はい］をクリックして本機を再起動してください。

18 付属のOffice 2000 Personalプレインストール パッケージで、Microsoft® Office 2000 Personalのすべての機能をインストールする。

Office 2000 Personalプレインストール パッケージには、2枚のCD-ROMが付属しています。下記の手順でインストールしてください。
詳しくは、パッケージに付属の活用ガイドをご覧ください。

①**「Microsoft® Office 2000 Personal」CD-ROMで、Office 2000 Personalをインストールする。**

「インストールの準備」画面が表示されたら、[カスタマイズ] をクリックしてください。さらに、「機能の選択」画面が表示されたら、「Microsoft Office」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから [マイコンピュータからすべて実行] をクリックしてください。

インストールが終了したら、画面の指示に従って本機を再起動してください。

② **再起動完了後、「Bookshelf® Basic」CD-ROMで、Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basicをインストールする。**

ご注意

手順17で [キャンセル] をクリックしてシステムの初期設定を行わない場合は、VAIOの独自のジョグダイヤル機能や、電源管理ツール、Fnキーと組み合わせたキーボードショートカット機能など、ハードウェア機能の一部が使用できなくなります。

Windowsが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには

1 付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.1 of 2」をCD-ROMドライブに入れる。

2 CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを2回押す。

本機が再起動します。
本機が再起動しない場合は、⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して本機の電源をいったん切り、再度電源を入れてください。

次のページにつづく

3 **SONYのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

ディスプレイ画面左下に「Entering Setup…」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。

「Entering Setup…」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

4 **Escキーを押す。**

5 **↑または↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。**

6 **「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。**

7 **［Exit（Save Changes）］が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。**

8 **「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。**

リカバリ CDから本機が起動します。

9 **画面の指示に従って操作する。**

操作を続けるかどうか表示されたときはYキーを押してEnterキーを押してください。

画面の指示に従って操作をしていくと、メニュー画面が表示されます。メニューからセットアップの方法を選び、引き続き画面の指示に従って操作してください。画再セットアップを中止するときは「4」を選び、Enterキーを押します。

10 **「本機を再セットアップするには」（98ページ）の手順12から18を行う。**

パーティションサイズを変更する

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、「DVgate」ソフトウェアなどで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域（データスペース）として使えるように設定されています（工場出荷時）。
付属のリカバリ CDを使ってパーティションサイズを変更できます。
動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのためデータスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化（デフラグ）またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、Windows MeはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはフロッピーディスクに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

その他

1 「本機を再セットアップするには」（98ページ）の手順1〜3を行う。

2 「メニュー選択」画面が表示されたら、「パーティションサイズを変更してリカバリ」を選び、[次へ] をクリックする。

3 リストからパーティションサイズを選んでクリックし、[次へ] をクリックする。

[詳細情報] をクリックすると、現在のパーティション情報が表示されます。

4 表示される内容をよく読み、[次へ] をクリックする。

「再起動してリカバリを開始します」画面が表示されます。

次のページにつづく

5 **「リカバリを開始する」のチェックボックスをクリックして、［完了］をクリックする。**

自動的に本機が再起動します。

パーティションサイズの変更を中止するときは、［キャンセル］をクリックします。

6 **SONYのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

ディスプレイ画面左下に「Entering Setup…」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。

「Entering Setup…」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

7 **Escキーを押す。**

8 **↑または↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。**

9 **「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。**

10 **［Exit (Save Changes)］が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。**

11 **「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。**

本機が再起動し、再セットアップが始まります。

12 **「2枚目のディスクを入れてください。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.2 of 2」をCD-ROMドライブに入れ、いずれかのキーを押す。**

再セットアップの続きが始まります。

13 **「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終了したら、画面の指示に従って、「システム リカバリ CD-ROM Vol.2 of 2」を取り出してから何かキーを押し、本機を再起動する。**

14 **「新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されたら、そのまま長時間放置せずに［はい］をクリックして本機を再起動する。**

15 **「**Windows Me**を準備する」（26ページ）の手順1から8に従って、**
Windows Me**のセットアップを行う。**

16 Windows**のセットアップが終了したら、付属の「アプリケーション リカバリ** CD-ROM**」を**CD-ROM**ドライブに入れる。**

自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。
アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、［OK］をクリックして本機を再起動してください。

17 **「**VAIO**初期設定マネージャ」が表示されたら、［**OK**］をクリックする。**

システムの初期設定が始まります。
設定が終わると「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されるので、［はい］をクリックして本機を再起動してください。

18 **付属の**Office 2000 Personal**プレインストール パッケージで、**
Microsoft® Office 2000 Personal**のすべての機能をインストールする。**

Office 2000 Personalプレインストール パッケージには、2枚のCD-ROMが付属しています。下記の手順でインストールしてください。
詳しくは、パッケージに付属の活用ガイドをご覧ください。

①**「**Microsoft® Office 2000 Personal**」**CD-ROM**で、**Office 2000 Personal**をインストールする。**

「インストールの準備」画面が表示されたら、［カスタマイズ］をクリックしてください。さらに、「機能の選択」画面が表示されたら、「Microsoft Office」左横のアイコンをクリックし、表示されたポップアップメニューから［マイコンピュータからすべて実行］をクリックしてください。
インストールが終了したら、画面の指示に従って本機を再起動してください。

② **再起動完了後、「**Bookshelf® Basic**」**CD-ROM**で、**Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basic**をインストールする。**

ご注意

手順17で［キャンセル］をクリックしてシステムの初期設定を行わない場合は、VAIOの独自のジョグダイヤル機能や、電源管理ツール、Fnキーと組み合わせたキーボードショートカット機能など、ハードウェア機能の一部が使用できなくなります。

電気通信事業法に基づくモデム認証番号について

本機内蔵のモデムは、電気通信事業法による端末機器技術基準認証を取得している下記の機器です。
認証機器名：T62M159.00
認証申請社名：AMBIT Microsystems Corporation
認証番号：A00-0813JP

ご注意

- 内蔵モデムは国選択機能が使用できますが、本機を使用する場合は、必ず日本国モード（工場出荷時のまま）でご使用ください。他国のモードをご使用になると、電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。
- 本機は海外の諸規格は対応しておらず、日本国内専用です。海外などでモデムを使用すると、故障・火災・感電の原因となることがあります。

認証機器名を確認する

次ページの手順により、上記認証機器名などを確認することができます。

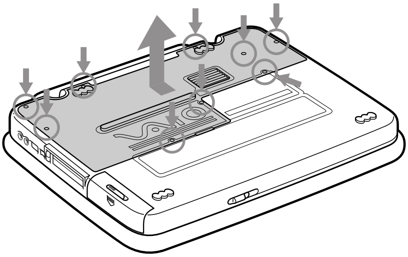
ご注意

- 下記の手順で内蔵モデムを他のモデムに交換することはできません。
- 下記の手順を行って生じた故障は、有償修理となります。
- 静電気で機器を破壊しないように、下記手順を行うときは次のことをお守りください。
  – 静電気の起こりやすい場所（カーペットの上など）では作業しないでください。
  – 静電気を体から逃がすため、金属部に触れてから作業を始めてください。
- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。
- 指定以外の基板には触れないようにご注意ください。
- 本機内部に水などの液体、やネジなどの異物が入ると故障の原因となりますので、ご注意ください。

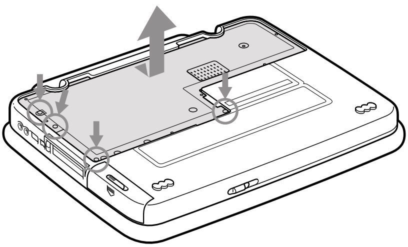
1 **本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、および接続しているすべての機器を取りはずす。**

2 **しばらくしてから本機を裏返し、底面のネジ（9か所）をプラスドライバーで取りはずし、底面のカバーをはずす。**

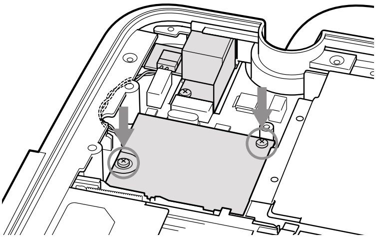
電源を切ったすぐ後は、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。電源を切って約1時間ほどおいてから作業を行ってください。



3 **続いてネジ（4か所）を取りはずし、内部カバーをはずす。**



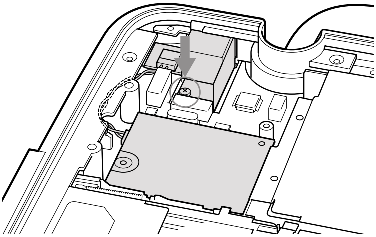
4 **モデム基板のネジ（2か所）を取りはずす。**



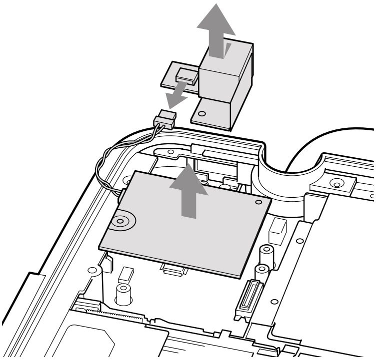
その他

次のページにつづく

5 モジュラジャック基板のネジ（1か所）を取りはずし、基板をはずす。



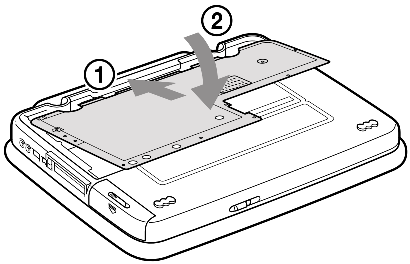
6 モジュラジャック基板からコネクタをはずし、モデム基板を取りはずす。



モデムを取り付けるには

上記手順と逆の手順を行います。

なお、内部カバーを取り付ける際は、下図のように内部カバー上部を本体にはめてから取り付けてください。



使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 本体に手やひじをつくなどして力を加えないでください。本機の液晶ディスプレイはガラスでできています。力を加えると、ガラスが割れてしまいます。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。

結露について

結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴がつくことで、そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が起きたときは、電源を入れずに約1時間放置してください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイの表面を濡れたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをつくなどして力を加え
ないでください。
- 本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、液晶ディスプレイに結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。
- 画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。その一方、衝撃や振動、ほこりに弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。

ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

ハードディスクのバックアップをとる

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフロッピーディスクにありますので、バックアップが必要なのはデータなどです。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。

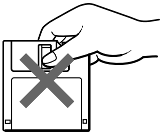
データの損失については、一切責任を負いかねます。

フロッピーディスクの取り扱いについて

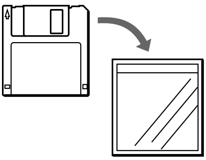
フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 液晶ディスプレイの近くにフロッピーディスクなどを置かないでください。液晶ディスプレイの上中央部分の磁気により、フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。

- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。
  フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。



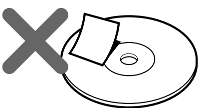
- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクはフロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。



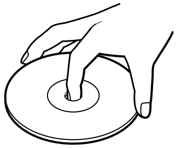
ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



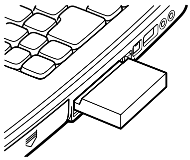
- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないようにして持ちます。



- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。

PCカード使用時のご注意

PCカードスロットからはみ出すPCカード（ワイヤレスLANカードなど）を挿入してお使いの場合は、以下の点にご注意ください。



- PCカードを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
  移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
- PCカード部分も持って本機を持ち上げるなど、PCカードに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。

その他

ACアダプタについて

- ACアダプタをつながない状態で、本機の電源を入れたままバッテリを取りはずすと、作業中のデータが失われます。
- 本機には、付属のACアダプタをご使用ください。指定以外のACアダプタを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると…」に見られるような被害が起きてしまいます。コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると…

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルがかってに消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスク上の空き容量が急に小さくなる。

コンピュータウイルスを侵入させないために

- 見知らぬ人から送られてきた、またはネットワーク経由で入手した文書やプログラムなどのデータは必ずウイルスチェックをする。
- 本機にはコンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして、「VirusScan」ソフトウェアが用意されています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。
  本機で「VirusScan」をはじめてお使いになるときは、「コンピュータウイルスについて」（86ページ）の手順に従ってインストール作業を行ってください。
- コンピュータウイルスはフロッピーディスクなどを介して広がることがありますので、他人のフロッピーディスクなどを使うときはご注意ください。フロッピーディスクなどのデータを共有する場合は、共有する人を限定してください。

- 新種のウイルスに対応するため、ウイルスに関するデータファイルは常に更新することをおすすめします。インターネット上で、下記のURLより最新のデータファイルを入手できます。
http://www.nai.com/japan/
- ウイルスデータファイルの更新や「VirusScan」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「VirusScan」のヘルプをご覧ください。

ウイルスが侵入して被害を受けてしまったときに備えて、日頃から作成した文書のバックアップをとる習慣をつけましょう。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows Me用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

お手入れ

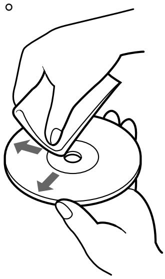
- 本機についたゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 指紋の跡がつくなど汚れてきたと思ったら、市販の眼鏡拭きなどでこまめに拭うよう心がけてください。
- 液晶ディスプレイは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。

ご注意

- 濡れたもので液晶ディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
  化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月間です。ユーザー登録していただいたお客様は1年間になります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではノートブックコンピュータの修理は引取修理を行っています。
当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出すまえに、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。当社の修理により、ハードディスク内のプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

次のページにつづく

部品の保有期間について

当社ではノートブックコンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：IDラベル（16ページ）または保証書に記載されています**
- **製造番号：本体底面または保証書に記載されています**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日：**

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

プロセッサ

モバイル Intel® Celeron™プロセッサ
500 MHz

キャッシュ（プロセッサに内蔵）
1次：32 Kバイト
2次：128 Kバイト

プロセッサシステムバスクロック
100 MHz

チップセット

Intel® 815EM chipset

メインメモリ

64 Mバイト SO-DIMM（SDRAM）
最大256 Mバイトまで拡張可能

メモリバスクロック
100 MHz

メモリスロット

SO-DIMMスロット（2）
（標準メモリが1スロット使用）

グラフィックアクセラレータ

高速グラフィックアクセラレータ
（Intel® 815EMチップセットに内蔵）

ビデオメモリ

最大11 Mバイト（メインメモリと共用）

液晶ディスプレイ

13.3 型、XGA対応、TFTカラー液晶

液晶ディスプレイ表示モード

1,024 × 768ドット（約26万色）
800 × 600ドット（約26万色）
640 × 480ドット（約26万色）

外部ディスプレイ表示モード1)

1,280 × 1,024ドット（約1,677万色）
1,024 × 768ドット（約1,677万色）
800 × 600ドット（約1,677万色）
640 × 480ドット（約1,677万色）

1) 外部ディスプレイによっては、使えない表示モードがあります。

ハードディスクドライブ

10.0 Gバイト
ATA66 対応
　C:ドライブ 6.0 Gバイト
　D:ドライブ 4.0 Gバイト（工場出荷時）
（1 Gバイト=10億バイトで算出）

CD-ROMドライブ

最大24倍速（平均17倍速）
マルチセッション対応、12／8 cm対応トレイタイプ

外部接続

MONITORコネクタ
アナログRGB、ミニD-SUB15ピン（1）

USBコネクタ
USB4ピン（2）

MIC入力コネクタ
モノラルミニジャック（1）

i.LINK（IEEE1394）コネクタ
S400 4ピン（1）　S400=400 Mbps

ヘッドフォン出力コネクタ
ステレオミニジャック（1）

モデムコネクタ
モジュラジャック（1）

ネットワークコネクタ
RJ-45コネクタ（1）

インジケータ

⏻（パワー）ランプ
▭（バッテリ）ランプ
（ハードディスク）ランプ
（Num Lock）ランプ
（Caps Lock）ランプ
（Scroll Lock）ランプ

PCカードスロット

Type III × 1またはType I／II × 2、
16 bit/CardBus対応

オーディオ機能

ウィンドウズサウンドシステム互換、AC97準拠、ソフトウェアMIDI音源、3Dサウンド機能、ステレオスピーカー

内蔵モデム

V.90およびK56flex対応
データ受信時最大56 kbps
データ送信時最大33.6 kbps
ファックス送受信時最大14.4 kbps

ポインティングデバイス

インテリジェント タッチパッド

電源・その他

電源
ACアダプタまたはバッテリ
DC端子　DC19.5 V、12.5 A

バッテリ駆動時間
約2.5〜3.5時間

外形寸法
約 330.6 × 40.7（最厚部47.2）× 261.1 mm
（幅／高さ／奥行き、キャリングスタンド、ゴム足含まず）

質量
約 3.2 kg（バッテリ装着時）

次のページにつづく

ACアダプタ[2)]

電源
AC 100～240 V、50/60 Hz
（付属電源コードはAC100V用）

2) その他の仕様については、ACアダプタのラベルをご覧ください。

バッテリ

出力電圧
14.8 V

付属品

「付属品を確かめる」（12ページ）をご覧ください。

動作・保存環境

動作温度
5 ℃～35 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

動作湿度
20 %～80 %（結露のないこと）
ただし35 ℃における湿度は65 %以下
（湿球温度29 ℃以下）

保存温度
–20 ℃～60 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

保存湿度
10 %～90 %（結露のないこと）
ただし60 ℃における湿度は20 %以下
（湿球温度35 ℃以下）

別売り品

ACアダプター
PCGA-AC19V

リチャージャブルバッテリーパック
PCGA-BP71

メモリーモジュール
64Mバイト増設メモリーモジュール
PCGA-MM64N
128Mバイト増設メモリーモジュール
PCGA-MM128N

USBフロッピーディスクドライブ
PCGA-UFD5

USBマウス
PCGA-UMS1/A

バイオ用カメラ
PCGA-VC2

ジョグリモートコントローラー
PCGA-JR1

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

付属ソフトウェアについて

本機には以下のソフトウェアが付属しています。
本機オンラインマニュアル内「付属ソフトウェア」では、各ソフトウェアの起動方法やお問い合わせ先などを説明しています。また、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアにつき「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ソフトウェアに関するお問い合わせについて
それぞれのソフトウェアによってお問い合わせ先が異なります。
各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
特に指示のない場合は、VAIOカスタマーリンクへお問い合わせください。

クリエーション

❑ Adobe PhotoDeluxe for **ファミリー**
画像を修正／加工するためのソフトウェア

お問い合わせ先：アドビ システムズ サポート契約センター
電話番号：(03) 5350-8688
初回コールより90日間の無料サポート。以後は同社による有料サポートメニューが用意されています。

❑ DVgate
動静止画編集用にデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器から動画や静止画を取り込むためのソフトウェア

❑ Microsoft® Windows® **ムービー メーカー**
オーディオやビデオの素材を作成して素材ファイルを取り込み、編集や並べ替えを行ってムービーを作成するためのソフトウェア

❑ MovieShaker
取り込んだ動画を編集するためのソフトウェア

❑ PictureGear
静止画や動画を見たり、保管するためのソフトウェア

❑ PictureToy
写真や地図などの静止画を下敷きとして、その上に重ねてお絵描きをするためのソフトウェア

次のページにつづく

❑ **筆ぐるめ**

年賀状や暑中見舞いなどのハガキを作成するためのソフトウェア

お問い合わせ先：

富士ソフトABC株式会社　インフォメーションセンター

電話番号：(03) 5600-2551

ファックス番号：(03) 3664-1322

電子メール：users@fsi.co.jp

オーディオ＆ビジュアル

❑ Beatnik Player

インターネット上で音楽やサウンドのインタラクティブ体験をすることを可能にする、ウェブブラウザ用のプラグイン・ソフトウェア

問い合わせ先：電子メール　vaiouser@beatnik.com

❑ Media Bar

音楽を聞いたり、映像を見たりするためのソフトウェア

❑ OpenMG Jukebox

ハードディスクに保存したデジタル音楽コンテンツを楽しむためのソフトウェア

❑ PicoPlayer

「Giga Pocket」ソフトウェア（Version 4.0以降）が搭載されている「バイオ」と組み合わせて使用するソフトウェア

ご利用にあたっては、本機の他に「Giga Pocket」ソフトウェアが搭載されている「バイオ」が必要です。

❑ QuickTime

動画を再生したり静止画を表示するためのソフトウェア

マルチプラットフォーム対応マルチメディア・アーキテクチャの業界標準です。

❑ RealPlayer

インターネットで配信されている動画を再生するためのソフトウェア

お問い合わせ先：リアルネットワークス株式会社　サポートセンター

電話番号：(03) 5466-1458

❑ Windows Media™ Player

音楽や動画などのファイルを再生するためのソフトウェア

コミュニケーション

❑ AOL

オンラインサービス「American Online」を利用するためのソフトウェア

お問い合わせ先：AOLジャパン株式会社　AOLサポートセンター
電話番号：(03) 5331-7400

❑ DION**オンラインサインアッププログラム**

インターネット接続サービス「DION」に入会するためのソフトウェア

お問い合わせ先：KDDIカスタマーサービスセンター
サービス内容に関するお問い合わせ
電話番号：(0077) -7192（無料）
接続・設定などに関するお問い合わせ
電話番号：(0077) -20227（有料、全国一律1分10円）
上記番号につながらない場合は
札幌 (011) 232-7012／東京 (03) 5351-9333（有料）

❑ Microsoft® Internet Explorer

インターネット用ブラウザ

❑ Microsoft® Outlook Express

電子メールを送受信するためのソフトウェア

❑ Netscape Communicator

インターネット用のブラウザ
お問い合わせ先：
　Netscapeホームページ
　http://home.jp.netscape.com/ja/index.html

❑ @nifty**でインターネット**

インターネット接続サービス「@nifty」に入会するためのソフトウェア

お問い合わせ先：ニフティ株式会社　@niftyサービスセンター
電話番号：(0120) 816-042（フリーダイヤル）
受付時間：9時～21時　年中無休

❑ ODN**スターターキットソフトウェア**

インターネット接続サービス「ODN」に入会するためのソフトウェア

お問い合わせ先：日本テレコム株式会社　ODNサポートセンター
電話番号：0088-86（無料）

次のページにつづく

❑ PostPet

ペットが電子メールを運ぶ、電子メールをやりとりするための
ソフトウェア

お問い合わせ先：

ポストペットホームページ
http://www.so-net.ne.jp/postpet/

❑ P'zDialer

ネットワークサービス「ぷらら」を利用するためのソフトウェア

お問い合わせ先：株式会社ぷららネットワークス「ぷららダイアル」

電話番号：（03）5954-5330

❑ Smart Capture

インターネット配信用にデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器から
動画や静止画を取り込むためのソフトウェア

❑ Smart Publisher

作成したデータをHTML形式で出力し、インターネットに送信するための
ソフトウェア

❑ So-net**オンラインサインアップソフトウェア**

インターネットサービスプロバイダ「So-net」に入会するための
ソフトウェア

お問い合わせ先：So-netインフォメーションデスク

電話番号：（0570）00-1414（全国共通）

携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。

東京（03）3446-7555／名古屋（052）819-1300／
大阪（06）6577-4000／札幌（011）711-3765／
仙台（022）256-2221／広島（082）286-1286／
福岡（092）624-3910

受付時間：10時～21時　年中無休

ご入会方法、サービス内容のお問い合わせ、各種会員情報の
変更方法や課金状況の確認などのお問い合わせは、上記の電話番号のほか、
ファックスや電子メールでも承ります。

ファックス番号：（03）3446-7557

電子メール：info@so-net.ne.jp

❑ ZEROサインアップ

インターネット接続サービス「ZERO」に入会するためのソフトウェア
お問い合わせ先：ゼロ株式会社
電話番号：(0120) 522-555（フリーダイヤル）
受付時間：10時～21時（土・日・祝日を除く）
ファックス番号：(03) 5381-4511
電子メール：support@zero.od.jp

❑ **さぱり**

インターネット上の仮想空間「さぱり」を楽しむためのソフトウェア

❑ **バイオネットワークサービスオンラインサインアップ**

VAIOカスタマー専用のインターネット接続サービス「バイオネットワークサービス」に入会するためのソフトウェア

お問い合わせ先：
　　ソニースタイルドットコム・ジャパン（株）
　　バイオネットワークサービスセンター
電話番号：(03) 5783-1133

リファレンスツール

❑ Adobe Acrobat Reader

本機や各ソフトウェアオンラインマニュアルなどのPDF形式の書類を画面上で読むためのソフトウェア

❑ Navin' You

付属のNavin' You専用マップサンプル版を見たり、インターネットから店舗情報を検索したりするためのソフトウェア

❑ Roboword

英単語を和訳するためのソフトウェア

お問い合わせ先：
　　株式会社テクノクラフト　Roboword ユーザーサポート
電話番号：(03) 5821-1830

次のページにつづく

❑ **ハイパーダイヤ**

時刻表や運賃などを検索するためのソフトウェア

お問い合わせ先：

（株）日立情報システムズ　ハイパーダイヤ ユーザーサポートセンター

電話番号：(03) 3464-7844

❑ **郵便番号検索ツール**

郵便番号から住所を検索したり、住所から郵便番号を検索するための
ソフトウェア

ステーショナリ

❑ Microsoft® Office 2000 Personal

Microsoft Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft
Outlook® 2000、Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basic 2.0
からなる統合ソフトウェア

お問い合わせ先：マイクロソフト　スタンダードサポート

電話番号：東京（03）5354-4500／ 大阪（06）6245-8490

初回コールより90日間の無料サポート。以後は同社による有料サポート
メニューが用意されています。

❑ Smart Write

文字や音声、画像を組み合わせて手軽に編集し、データを作成するための
ソフトウェア

ユーティリティ

❑ CyberSupport

本機を使っていて困ったことや疑問があった場合に使用するソフトウェア

❑ PowerPanel

本機の動作モードを切り替えたり、バッテリの残量を確認するためのソ
フトウェア

❑ Sony Notebook Setup

本機の使用状況に合わせた動作環境をつくるためのソフトウェア

❑ UI Design Selector

ソニー製ソフトウェアのインターフェイスデザインを変更するための
ソフトウェア

❑ VAIO Action Setup

本機のジョグダイヤルの働きやタイマーを設定するためのソフトウェア

❑ VirusScan

コンピュータウイルスを検出／除去するためのソフトウェア
「コンピュータウイルスについて」（86ページ）もあわせてご覧ください。

お問い合わせ先：
　　日本ネットワークアソシエイツ株式会社　テクニカルサポート
電話番号：（03）5428-1101

❑ VisualFlow

“メモリースティック”やハードディスクに保存されている静止画、動画、音声のファイル表示し、選択したファイルを他のソフトウェアで表示／再生するためのソフトウェア

❑ **メモリースティックフォーマッタ**

“メモリースティック”をフォーマット（初期化）するためのソフトウェア

❑ **ジョグダイヤルウィンドウ**

本機のジョグダイヤルを使ってできる操作のガイドを表示するためのソフトウェア

その他

❑ VAIO**オンラインカスタマー登録**

本機のカスタマー登録をするためのソフトウェア
カスタマー登録の手順について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネット登録する」（32ページ）をご覧ください。

お問い合わせ先：ソニー株式会社 VAIOカスタマー専用デスク
電話番号：（03）3584-6651

索引

五十音順

アルファベット順

その他

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick”（“メモリースティック”）および MEMORY STICK™は、ソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ“ i ”は商標です。
- OpenMGはソニー株式会社の商標です。
- So-net、ソネットおよびSo-netロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Outlook、Bookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Pentium、Celeron、SpeedStepは、Intel Corporationの商標または登録商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- K56flexはConexant Systems, Inc.とLucent Technologies社の商標です。
- Beatnik Player はBeatnik, Inc.の登録商標です。
- Adobe®、Adobe® PhotoDeluxe®およびAdobe® Acrobat® ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- Copyright © 1993-2000 FUJISOFT ABC Inc. All rights reserved.
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license. QuickTime is registered in the U.S. and other countries.
- 「RealPlayer」は、米国また諸各国において、米国 RealNetworks, Inc.社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。
- 2000 AMERICA ONLINE INC. All Rights Reserved.
- DIONは第二電電株式会社の登録商標です。
- Netscape、Netscape NavigatorおよびNetscapeのNロゴは、米国およびその他の諸国のNetscape Communications Corporation社の登録商標です。Netscapeのロゴ、Netscape Communicatorおよびその他の製品名とサービス名は、Netscape Communications Corporation社の商標です。（一部の国では、登録商標となっています。）Netscape Navigatorの著作権は、Netscape Communications社に帰属します。
- @niftyはニフティ株式会社の商標です。
- ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
- PostPet、ポストペットおよびPostPetロゴはソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の登録商標です。
- 「ぷらら」は株式会社ぷららネットワークスの商標です。
- プロアトラスは株式会社アルプス社の商標です。
- ロボワードのロゴおよびロボワード、Roboword は、株式会社テクノクラフトの登録商標です。
- ハイパーダイヤは、（株）日立情報システムズの登録商標です。
- PowerPanel は米国フェニックス テクノロジーズ社の商標です。
- VirusScanは日本ネットワークアソシエイツ株式会社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのパソコンに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

この説明書は再生紙を使用しています。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、
本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に
関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の
省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー
消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、
事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象と
なる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等の
オフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されて
います。

お願い

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウム
イオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って
充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する
問い合わせ先：

財団法人電池工業会　TEL:03-3434-0261
ホームページ:http://www.baj.or.jp

VAIOホームページ

VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。

● http://www.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンク ホームページ

VAIOの最新サポート情報をご案内します。

● http://vcl.vaio.sony.co.jp/

Sony online http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

技術的なお問い合わせ、および修理のご依頼はVAIOカスタマーリンクへ

（VAIOカスタマーリンクお問い合わせ先は、本書の「困ったときは」または別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。）

Printed in Japan